

会津若松市
高校生向け
男女共同参画に関する意識調査
報告書

令和4年度
会津若松市

目 次

第1章 調査の概要	1
第2章 回答者の属性	5
第3章 調査結果の概要と分析	9
<調査結果の概要（全体）>	10
1. 「男女共同参画に対する考え方」について	12
問1 各用語の認知度	12
問2 男女の地位の平等感	15
問3 家庭・結婚に関する考え方	18
問4 女性の就業のあり方	21
問5 女性が働く方がよいと考えた理由	22
問6 女性が働く方がよいという考え方について、最も影響を受けた人物やツール	24
問7 将来の、家庭生活での役割分担	26
2. 「高校卒業後の進路（希望）及び、将来の暮らし」について	28
問8 卒業後の進路（希望）	28
問9 希望する学校の所在地	30
問10 学校の所在地を希望する理由	32
問11 就きたい業種	34
問12 働きたい地域	36
問13 働きたい地域を希望する理由	38
問14 将来、本市に住みたいかについて	40
問15 本市に住みたい理由	42

問 16 本市に住みたくない理由 44

問 17 本市への思いについて 46

第 4 章 自由記入 49

資 料 調査票 53

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査目的

会津若松市では、「すべての市民が、性別にかかわらず一人の人間として尊重され、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会」の実現を目指し、様々な施策に取り組んでおります。

本調査は、「第5次会津若松市男女共同参画推進プラン」の計画期間満了に伴い、新たなプラン策定の基礎資料とするため、前回（平成29年度）の市民向けの意識調査における若年層の回答率が低かった反省に基づき、次世代を担う高校生の男女共同参画に関する意識及び考え方を把握し、今後の施策の方向性等の参考とするために実施したものです。

なお、本報告書の調査結果の分析や考察などにつきましては、男女共同参画推進活動ネットワークに加入している17団体の皆さんからもご意見を頂戴しました。

2. 調査設計

- (1) 調査対象：市内全日制の福島県立高等学校（支援学校を除く）在学の2年生
- (2) 標本数：987人
- (3) 調査方法：自記式の意識調査（学校を通じ配布・回収）
- (4) 調査時期：令和4年7月4日（月）～令和4年7月15日（金）

3. 調査内容

- (1) 属性（性別、小学生の頃の保護者の就労状況など）
- (2) 男女共同参画に対する考え方について（認知度、男女の平等観、結婚観など）
- (3) 高校卒業後の進路（希望）及び、将来の暮らしについて（進路、本市への思いなど）
- (4) ご意見・ご要望 等

4. 回収結果

配布数（A）：987

有効回収数（B）：927（男性：484、女性：398、どちらにもあてはまらない16、無回答：29）

有効回収率（B/A）：93.9%

5. 調査結果の見方

(1) 調査の数値

- ①調査結果の数値は、原則として回答率（％）で表記しています。
- ②数値は、小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合で、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
- ③質問に対する回答の選択肢が複数の場合、回答者数を分母として比率（％）を計算しているため、選択肢の数値（％）を合計すると、100%以上となっています。

(2) 図表の見方

- ①グラフや表の中で、アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合があります。
- ②グラフの中で、回答がなかった場合等にスペースの都合上「0.0」の表記を省略している場合があります。

第1章 調査の概要

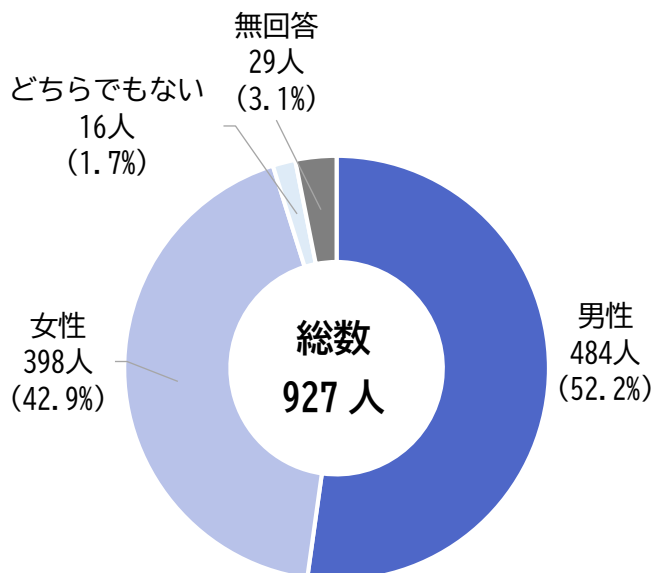
第2章 回答者の属性

第2章 回答者の属性

はじめに、あなた自身のことについてお伺いします。

(1) あなたの性別(性自認※)を教えてください。【○は1つだけ】

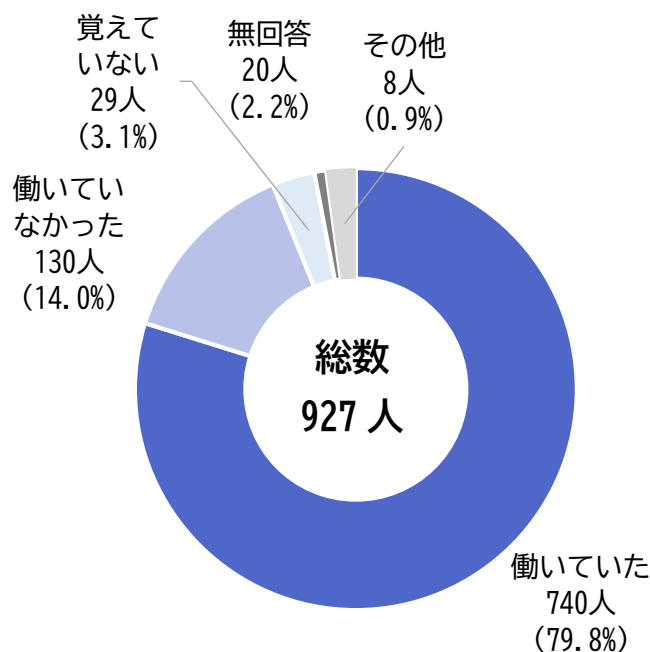
有効回答数 927 件のうち、男性が 52.2% (484 人)、女性が 42.9% (398 人)、どちらにもあてはまらないが 1.7% (16 人)、無回答が 3.1% (29 人) となっています。



※性自認(こころの性)とは・・・
自分の性をどのように認識しているかを表す概念であり、生まれ持った身体的性別(からだの性)と一致する場合もあれば、そうでない場合もあります。

(2) あなたが小学生の頃、女性の保護者は働いていましたか。【○は1つだけ】

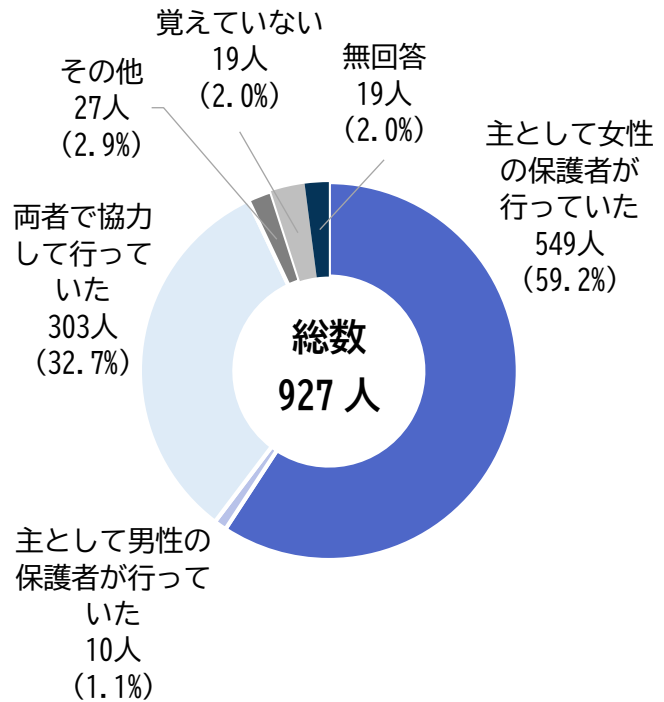
有効回答数 927 件のうち、「働いていた」が 79.8% (740 人) で、「働いていなかった」が 14.0% (130 人) となっています。



(3)あなたが小学生の頃、家事・子育ては主に誰が行っていましたか。【〇は1つだけ】

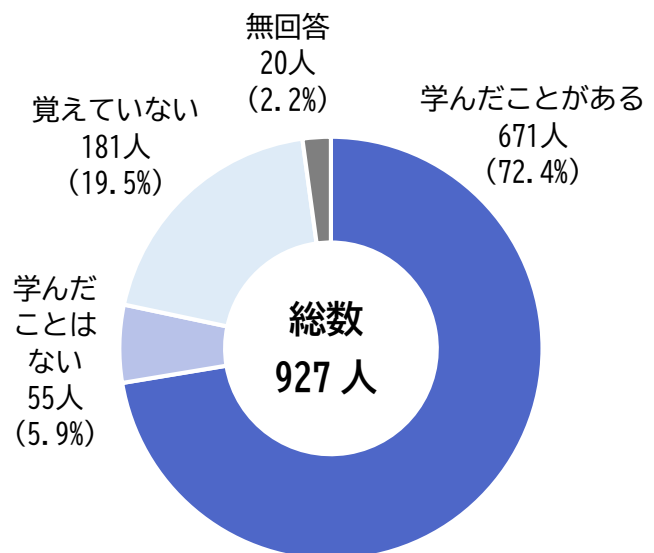
有効回答数が927件のうち、「両方で協力して行っていた」が、32.7% (303人)、「主として女性の保護者が行っていた」が、59.2% (549人)となっています。

家事・子育てについて、主として女性の保護者が行っている割合が一番高いことがわかります。



(4)小学校から高校で、これまでに「男女共同参画」(表紙の具体例)について学んだことはありますか。【〇は1つだけ】

有効回答数927件のうち、「学んだことがある」が72.4% (671人)、「学んだことはない」が5.9% (55人)、「覚えていない」が19.5% (181人)となっています。



第3章 調査結果の概要と分析

第3章 調査結果の概要と分析

<調査結果の概要（全体）>

1. 「男女共同参画に対する考え方」について

- 6つの用語のうち「ダイバーシティ（多様性）」や「セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）」といった用語については、他の用語に比べると少し認知度は低くなるものの、全体としては高い認知度になっています。
- 4つの設問項目のうち、「社会全体」だけは、「男性優位」と感じている人は多いものの、それ以外の項目では、平等だと感じている人が多くなっています。
- 家庭・結婚に関する考え方は、性別による差はわずかながら見られるものの、昔から言われてきたような社会での決めつけにとらわれず、それぞれの個人にあったあり方がよいとする人が圧倒的に多くなっています。
- 女性の就業のあり方については、性別による違いが多く表れています。女性は結婚や出産にかかわらず、働く方がよいとする考え方が一番多く、その理由として、経済的・精神的に自立できることや能力を生かした方がよいことなどが多くあげられています。そのように考える理由として、「女性の保護者」や「テレビ・新聞・インターネットなど」といった、身の回りを取り巻く環境から影響を受けたと認識している人が多い結果となっています。
- 将来家庭を持った場合の家事・育児については、「夫と妻で相談して分担」するべきであるとする意見が圧倒的に多く、「男は仕事、女は家事・育児」といった、固定的役割分担意識はほとんど見受けられない結果となっています。

2. 「高校卒業後の進路（希望）及び、将来の暮らし」について

- 高校卒業後の進路（希望）については、性別にかかわらず、6割を超える高校生が大学進学を希望しており、それ以外の校種を含めると、7割を超える高校生が進学を希望している結果となっています。
- また、高校卒業後に就職したい人については、性別による違いが大きく見受けられ、男性の就職希望が一番多い結果となりました。
- 希望する学校の所在地としては、性別にかかわらず「関東」が一番多く、学校の所在地を決める理由としては、性別毎による違いが見受けられるものの、「希望する学部・学科」や「希望する学校」があることなどが、共通して高い理由となっています。
- 就きたい業種については、性別による違いが大きく見受けられ、男性は「製造業」、女性は「医療・福祉」、どちらにもあてはまらない方は「その他」が最も多い結果となっています。
- 働きたい地域については、「まだ決めていない」と回答した方を除くと、性別にかかわらず、「関東」が一番多く、働きたい地域を希望する理由としては、どの性別でも「希望する場所に住みたい」という意見が多い結果となりました。
- 将来会津若松市に住みたいかという問いに対しては、「分からない」という回答が4割を超え、最も多かったものの、それ以外の回答については、性別により違いがあり、男性は住みたいとする人（「ずっと住みたい」と回答した人と「一度は市外に出ても、会津若松市に戻って住みたい」と回答した人の合計）が多い一方、女性やどちらにもあてはまらない方は、「住みたくない」とするの方が多い結果となりました。
- 会津若松市に住みたいと回答した理由について、性別による違いは見受けられるものの、共通して、「地元の生活に慣れている」ことや「両親や祖父母の近くで生活したい」などの意見が多く見受けられました。
- 反対に、会津若松市に住みたくないと回答した理由について、「他に住んでみたい地域がある」、「都会の方が暮らしやすそう」、「希望する仕事や魅力ある仕事が少ない」、「給料が安そう」といった意見が多い結果となりました。
- 会津若松市の望ましいまちの姿として、性別による違いは見受けられるものの、共通して「快適な生活環境」「買い物が便利」「若者が多く、遊ぶところがたくさんある」「交通が便利で、どこにでも気軽に出かけられる」という回答が多く見受けられました。

第3章 調査結果の概要と分析

1. 「男女共同参画に対する考え方」について

各用語の認知度

問 1 次の①から⑥の言葉をご存じですか。【〇は1から3の数字をそれぞれ1つだけ】

<全体>

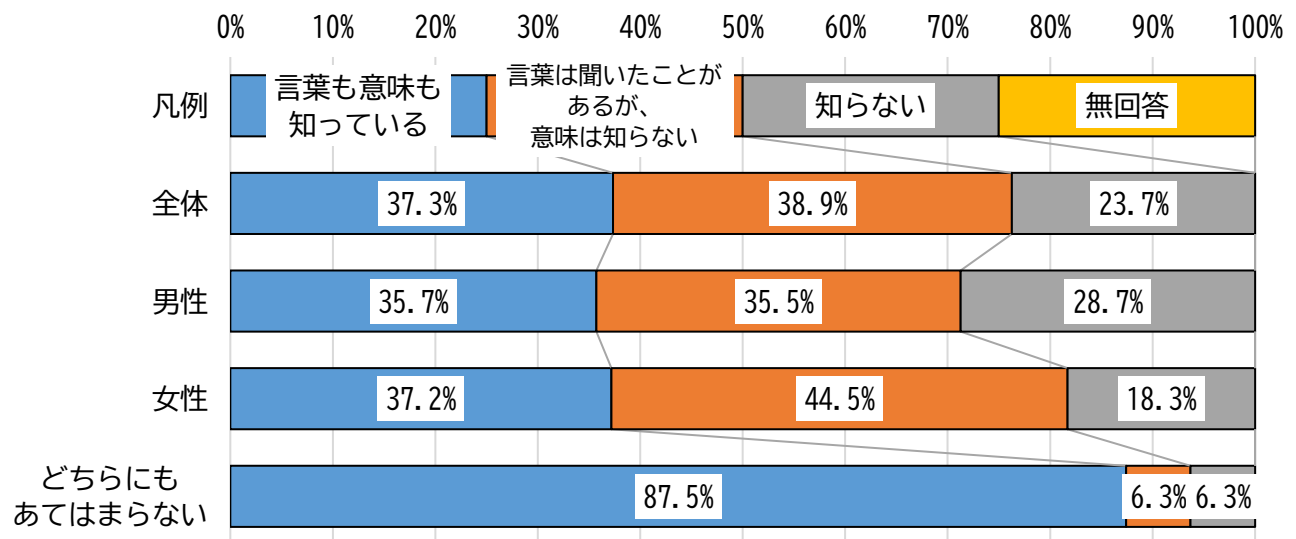
○6つの用語のうち、「言葉も意味も知っている」の割合が最も高い用語は、「④DV（ドメスティック・バイオレンス）」の92.0%、次いで「⑥ジェンダー（社会的性別）」の80.9%、「②LGBT（エルジービーティー）」の74.7%、「⑤男女共同参画社会」の69.1%となっており、言葉だけ聞いたことがある人まで含めると、いずれも9割を超える高い認知度となっています。

○一方、「言葉も意味も知っている」の割合が最も低い用語は、「③ダイバーシティ（多様性）」の28.8%、言葉だけ聞いたことがある人を含めると67.7%、次いで「①セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）」の37.3%、言葉だけ聞いたことがある人を含めると76.2%と、いずれも8割以下であり、上記した4つの用語に比べると、やや認知度は低くなっています。

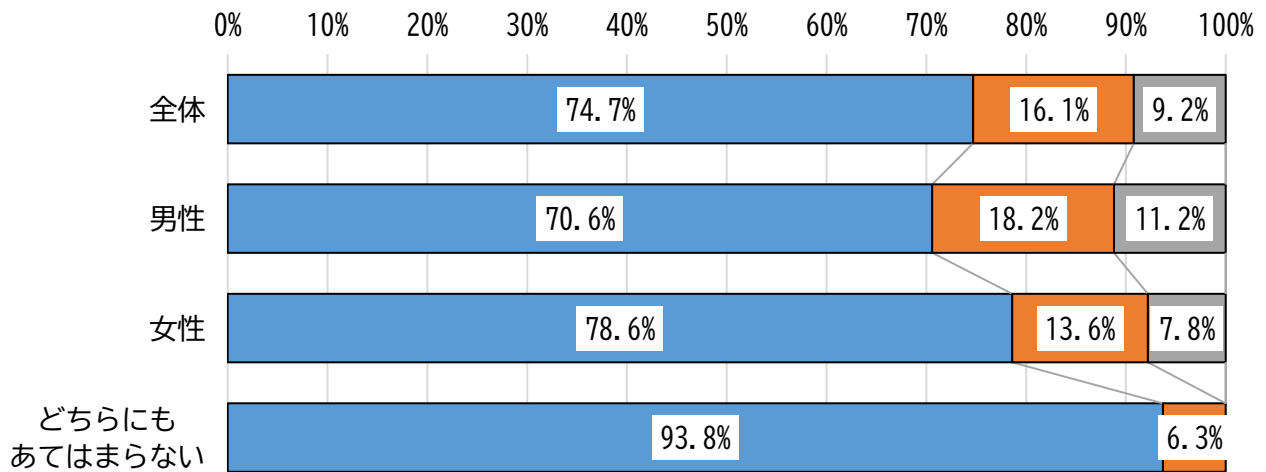
<性別>

○ほとんどの用語において、どちらにもあてはまらない方の認知度が高い結果となっています。反対に、男性の認知度は、他の性別（性自認）の方に比べて、認知度が低い結果となっています。

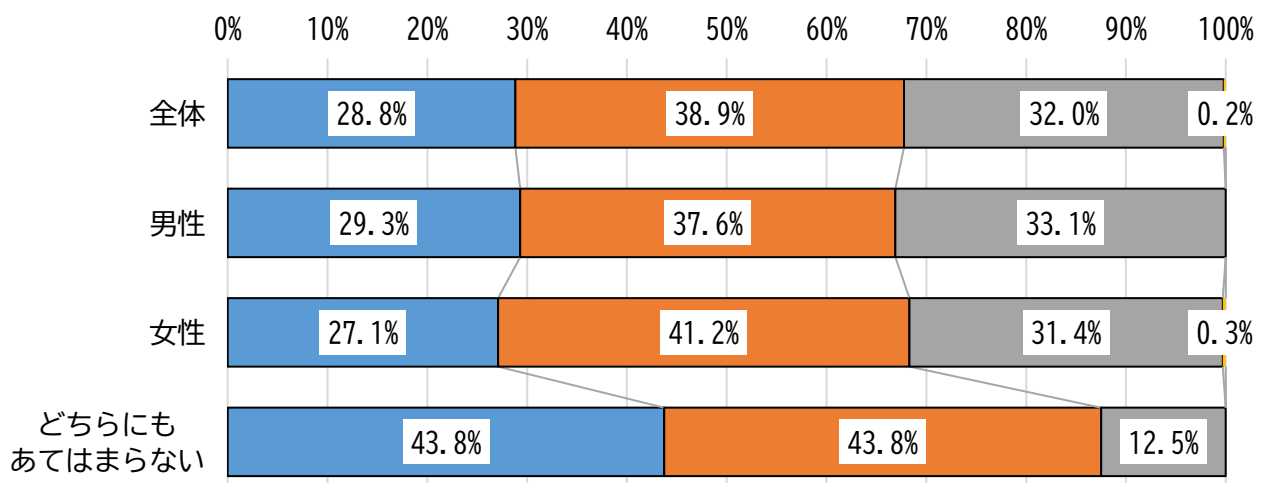
問1-① セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）



問1-② LGBT（エルジービーティー）

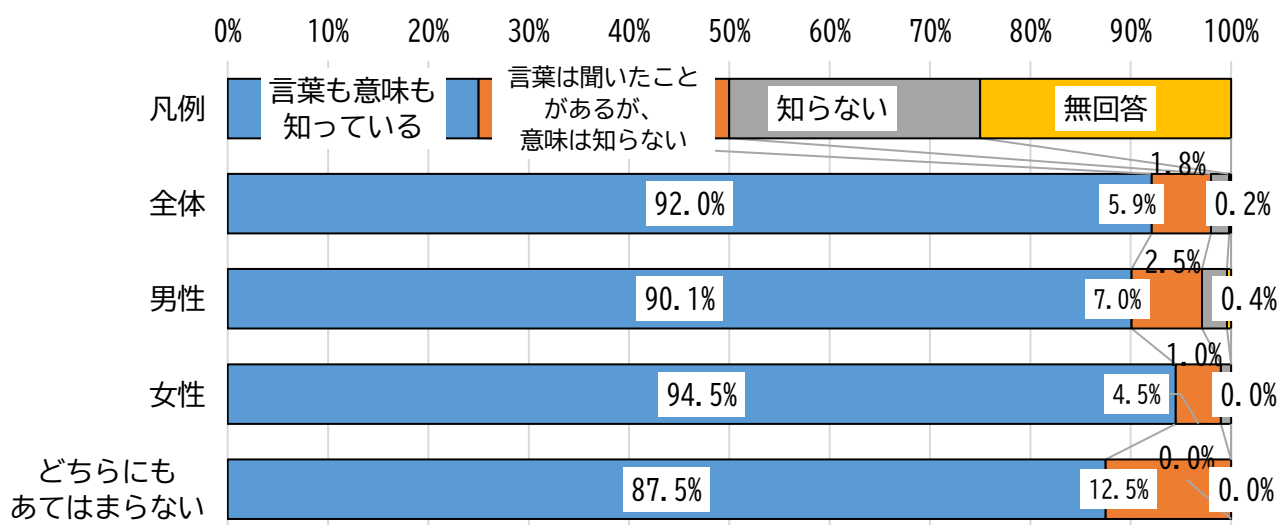


問1-③ ダイバーシティ（多様性）

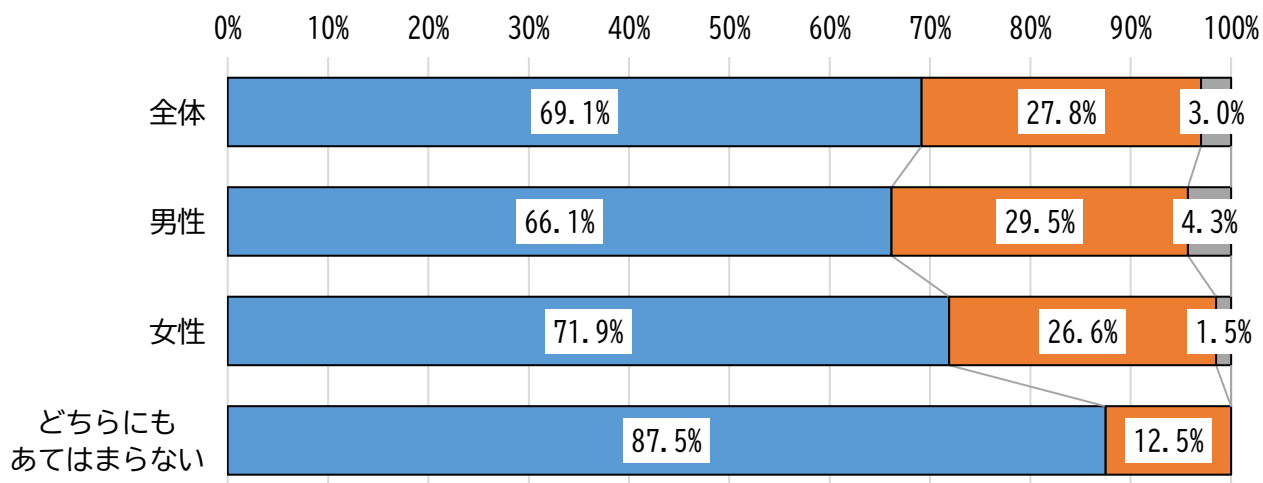


第3章 調査結果の概要と分析

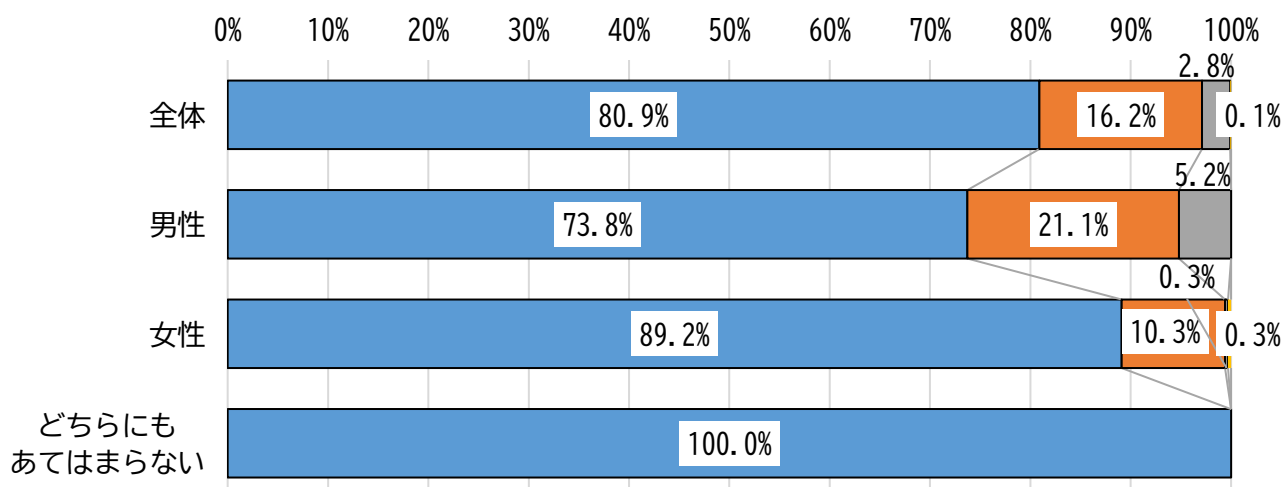
問1-④ DV（ドメスティック・バイオレンス）



問1-⑤ 男女共同参画社会



問1-⑥ ジェンダー（社会的性別）



男女の地位の平等感

問2 次の①から④の分野で、男女は平等だと思いますか。【〇は1から6の数字をそれぞれ1つだけ】

<全体>

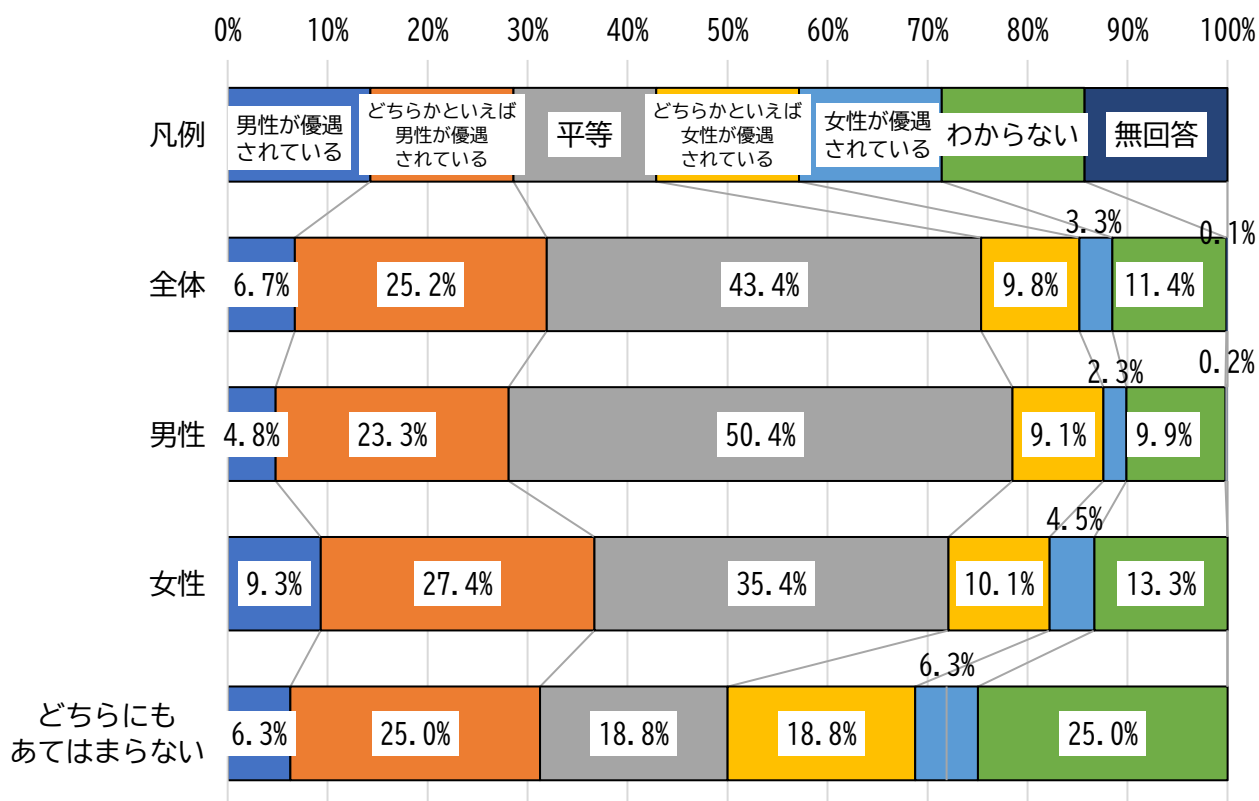
- 4つの設問項目において、「平等」と回答した割合は、「② 学校生活 (67.2%)」、「③ 法律や制度 (43.8%)」、「① 家庭生活 (43.4%)」の順に高く、「② 学校生活」が他の項目よりも「平等」と感じている割合がひときわ高くなっています。
- 「④ 社会全体」においては、唯一、「男性が優遇」「どちらかといえば男性が優遇」と回答した割合が「平等」と回答した割合を上回り、多くの高校生が、社会全体ではまだまだ女性に比べ男性が優遇されていると感じている現状になっています。
- ほとんどの設問項目において、回答割合の上位2つに「平等」と「どちらかと言えば男性が優遇されている」が占める中、「② 学校生活」においては、上位2つを「平等」と「どちらかと言えば女性が優遇されている」が占めています。

<性別>

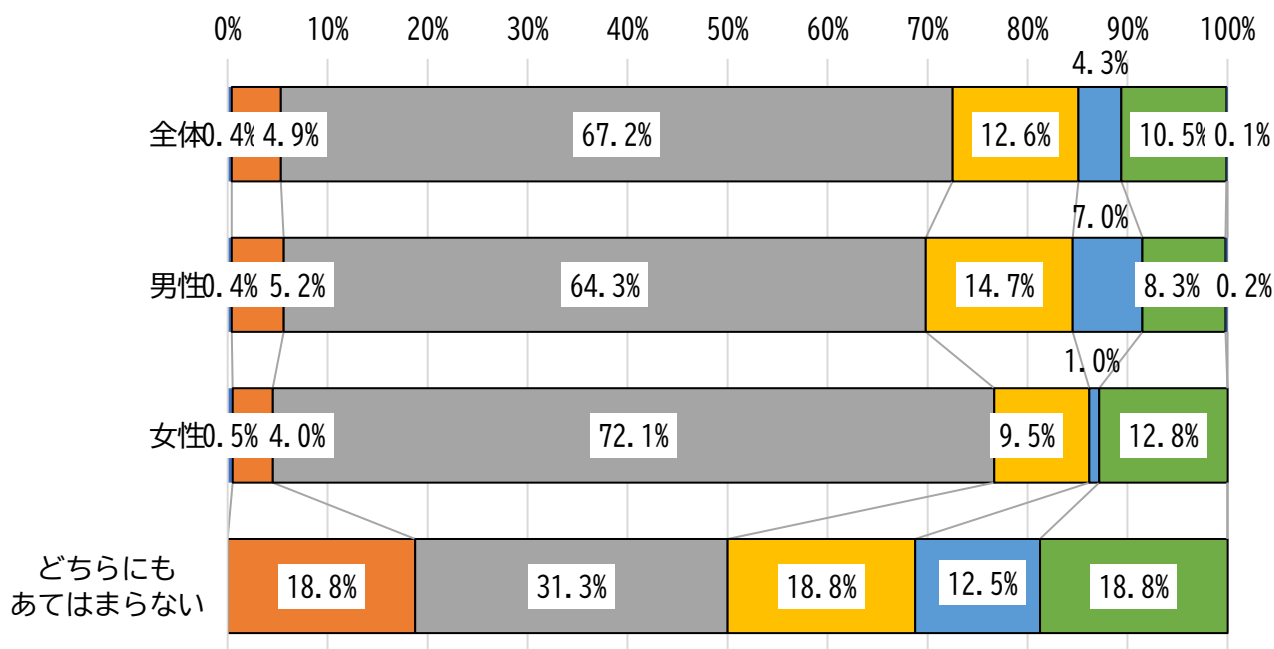
- 性別毎に比較してみると、どちらにもあてはまらない方が「平等」と感じていないことが多いことが見てとれます。

第3章 調査結果の概要と分析

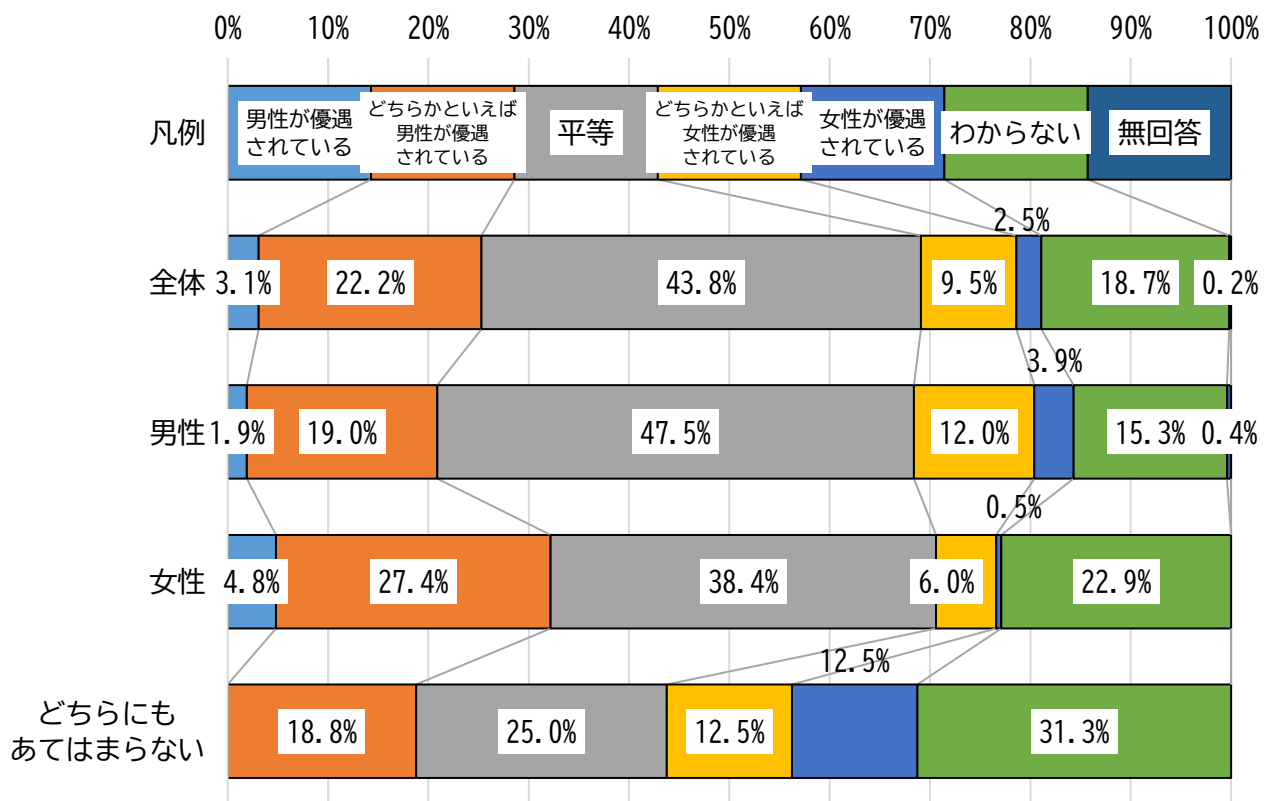
問2-① 家庭生活



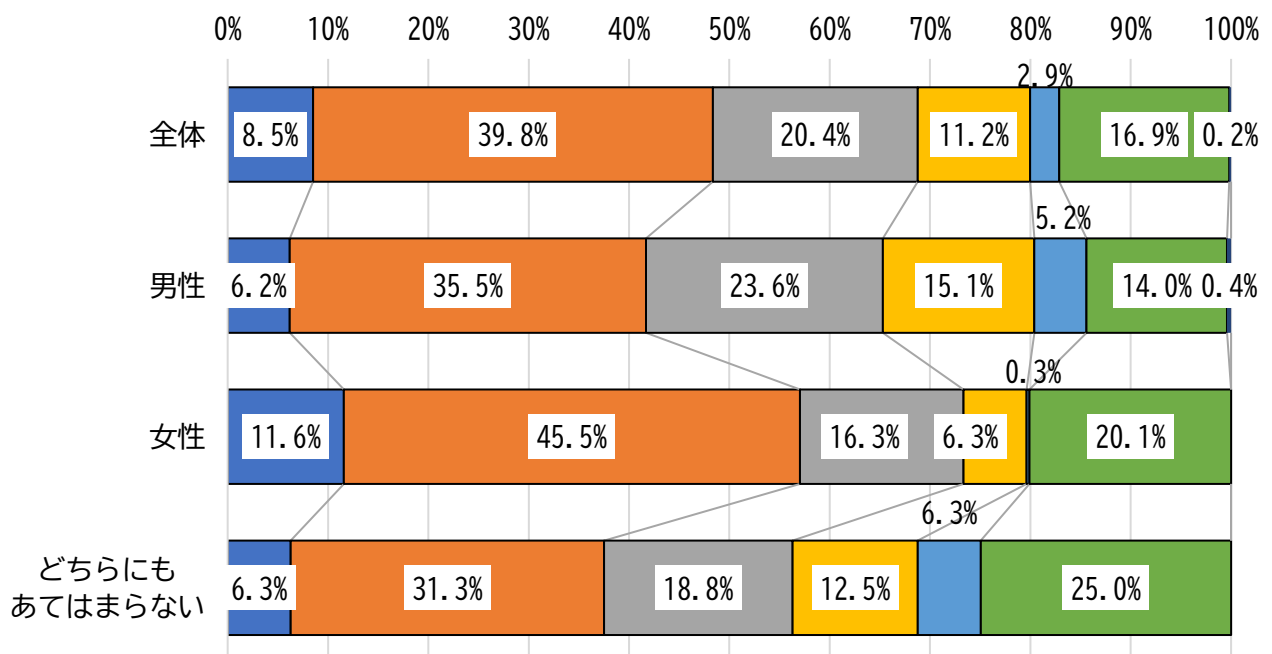
問2-② 学校生活



問2-③ 法律や制度



問2-④ 社会全体



第3章 調査結果の概要と分析

家庭・結婚に関する考え方

問3 次の①から④のような意見について、どのように考えますか。【〇は1から5の数字をそれぞれ1つだけ】

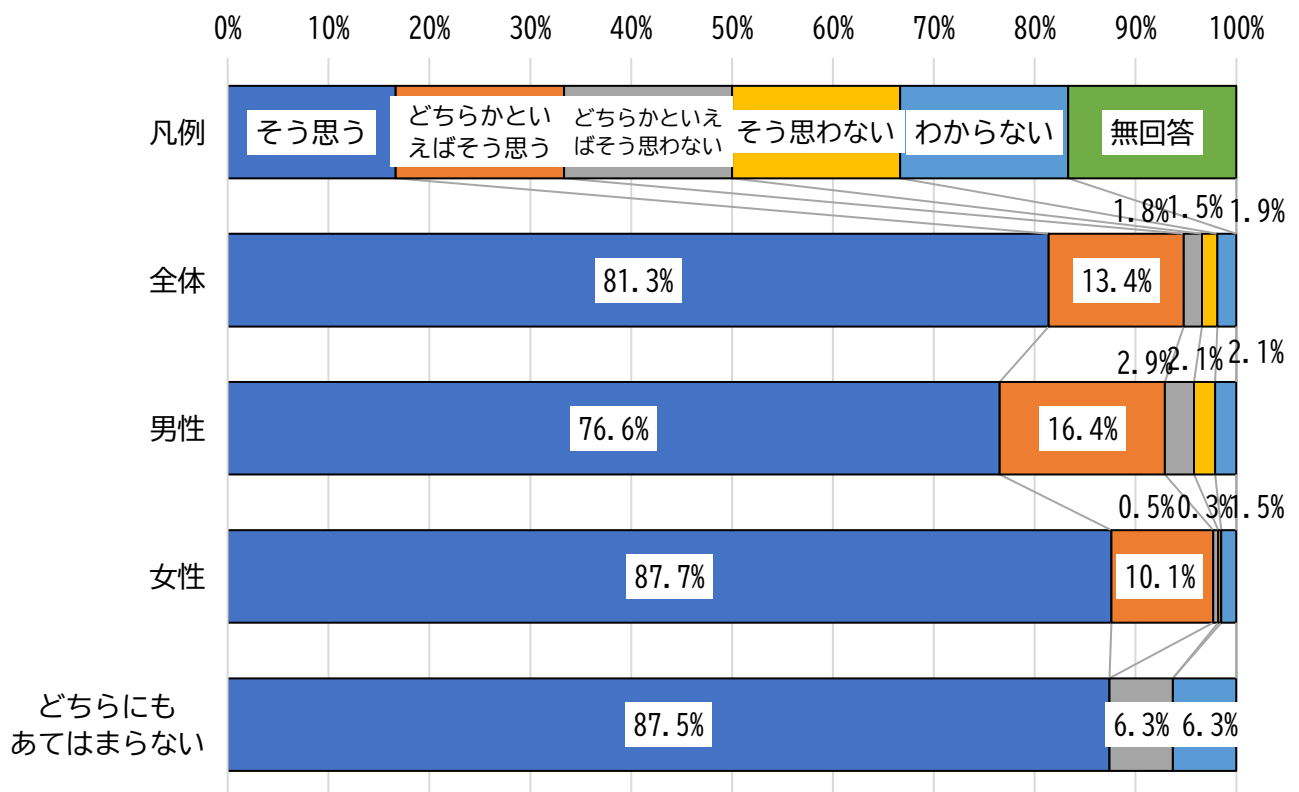
<全体>

- 肯定的な意見（「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」）が多いのは、「① 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい（94.7%）」、「④ 結婚しても必ず子どもを持つ必要はない（86.6%）」の2項目で、双方とも8割を超えており、結婚において固定的な考え方を持つ人が少ない結果となっています。
- 同じく、否定的な意見（「そう思わない」・「どちらかといえばそう思わない」）が多いのは、「② 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである（85.9%）」「③ 女性は結婚したら自分のことより、夫や子どもを中心に考えて生活した方がよい（83.8%）」の2項目で、双方とも8割を超えており、家事や育児においても、固定的な考え方を持つ人が少ない結果となっています。

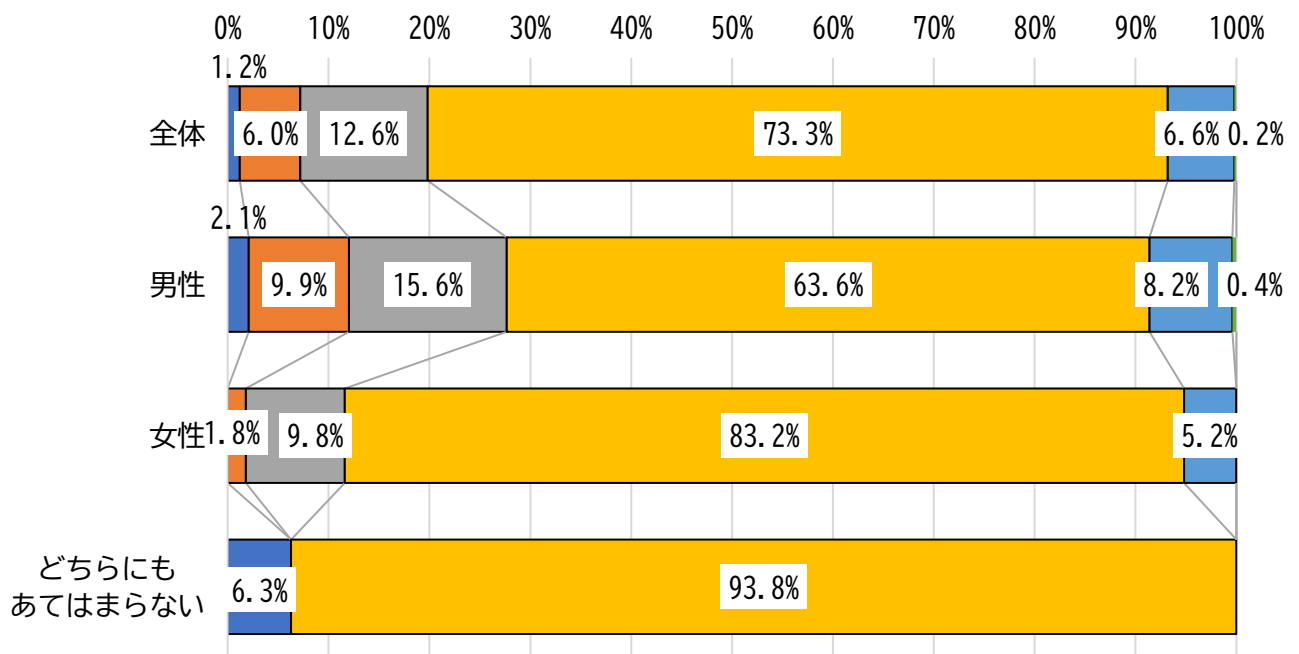
<性別>

- 「② 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」の肯定的な意見（「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」）は、女性の回答割合が1.8%に対して、どちらにもあてはまらない方の回答割合が6.3%、男性の回答割合が12.0%と、性別による意識の違いが表れています。
- 「④ 結婚しても必ず子どもを持つ必要はない」の否定的な意見（「そう思わない」・「どちらかといえばそう思わない」）は、女性の回答割合が3.6%に対して、どちらにもあてはまらない方の回答割合が6.7%、男性の回答割合が11.8%と、②と同じく、性別による意識の違いが表れています。

問3-① 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

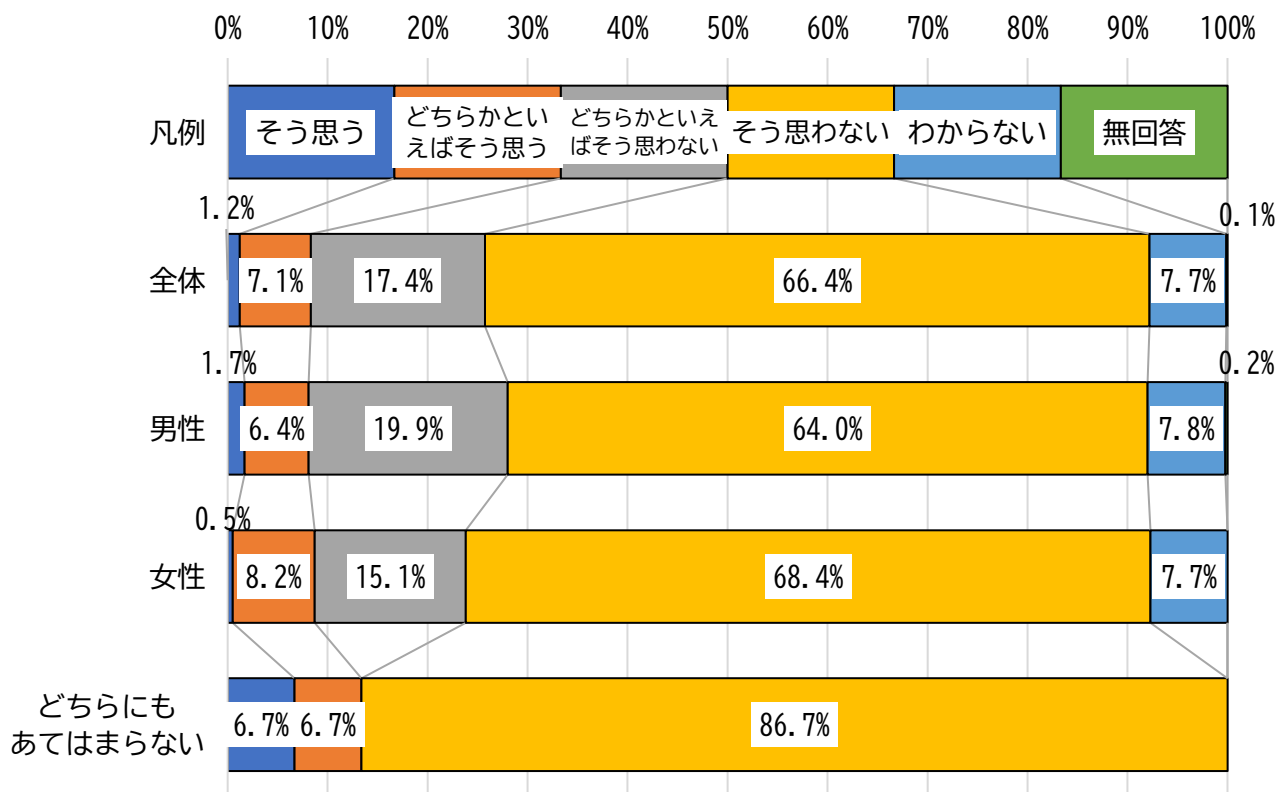


問3-② 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

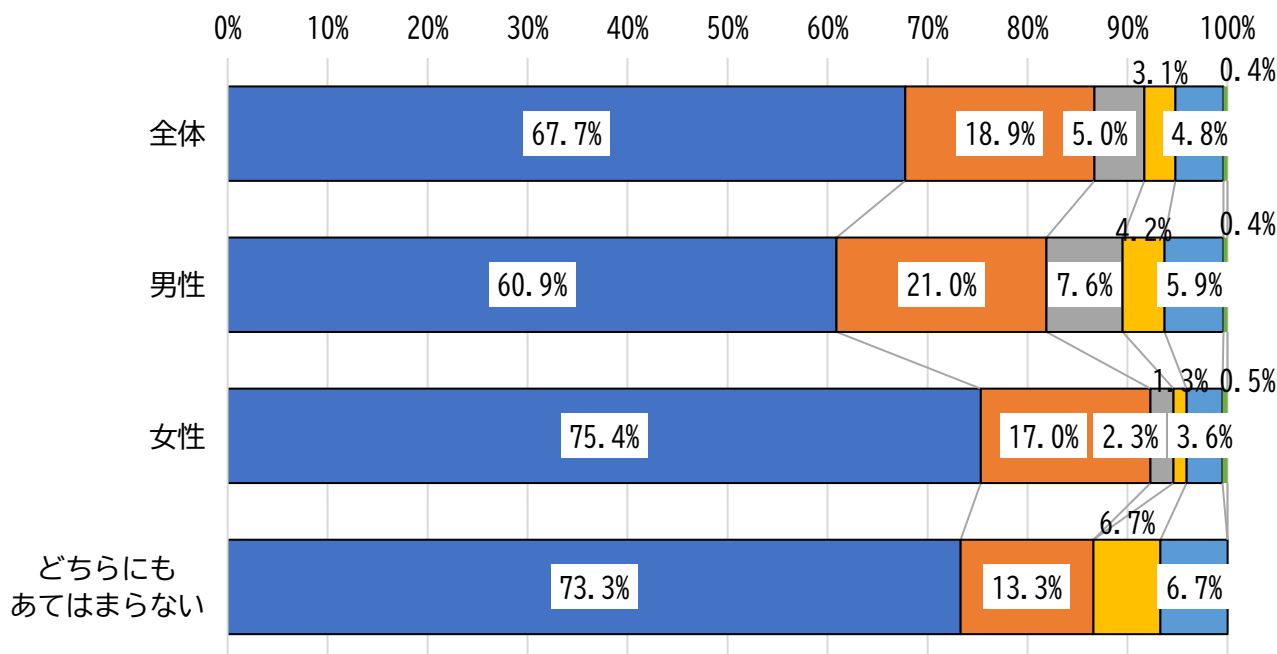


第3章 調査結果の概要と分析

問3-③ 女性は結婚したら自分のことより、夫や子どもを中心に考えて生活した方がよい



問3-④ 結婚しても必ず子どもを持つ必要はない



女性の就業のあり方について

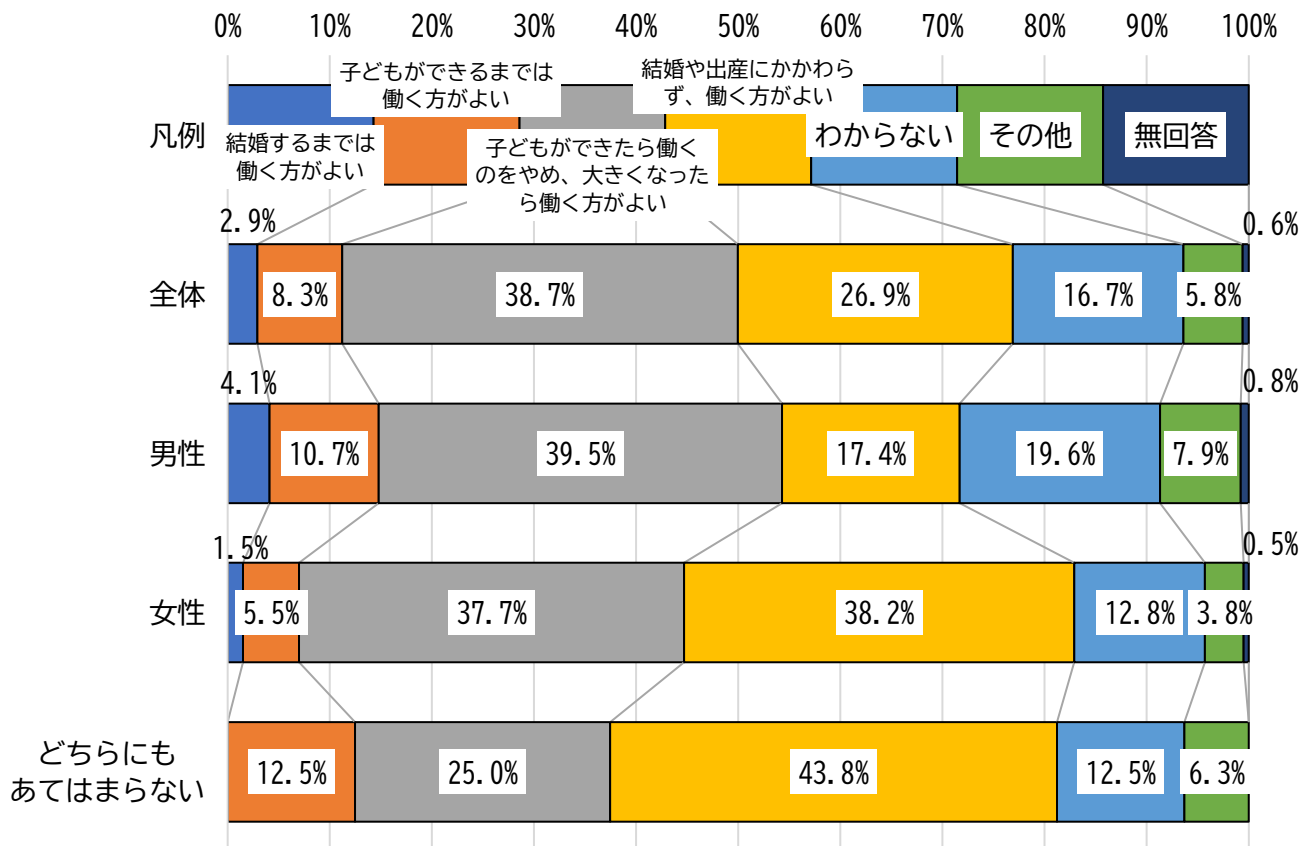
問4 あなたは、女性が働くことについて、どう考えますか。【〇は1つだけ】

<全体>

○「子どもができたらか働くのをやめ、大きくなったら再び働く方がよい（中断再就職型）」が38.7%で最も多く、次いで「結婚や出産にかかわらず、働く方がよい（就業継続型）」が26.9%、「わからない」が16.7%となっております。

<性別>

○性別毎に見ると、男性は「子どもができたらか働くのをやめ、大きくなったら再び働く方がよい」と考える回答割合が最も多い一方、女性やどちらにもあてはまらない方は、「結婚や出産にかかわらず、働く方がよい」と考える回答割合が最も多くなっています。性別による意識の違いが大きく表れています。



(その他回答)

- ・好きなようにすればいいと思う。(他2件)
- ・自分が働きたいときに働ければいいと思う。
- ・自由にすればいいと思う。(他4件)
- ・個人の意見の尊重。
- ・どちらでもよい。

第3章 調査結果の概要と分析

女性が働く方がよいと考えた理由

問5 結婚や出産にかかわらず、女性が働く方がよいと考えた理由について、あてはまるものはどれですか。【〇はあてはまるものすべて】

<全体>

- 「経済的に自立できるから (60.6%)」が最も多く、次いで「能力を生かした方がよいから (51.8%)」、「社会とより関わることができるから (32.9%)」となっております。

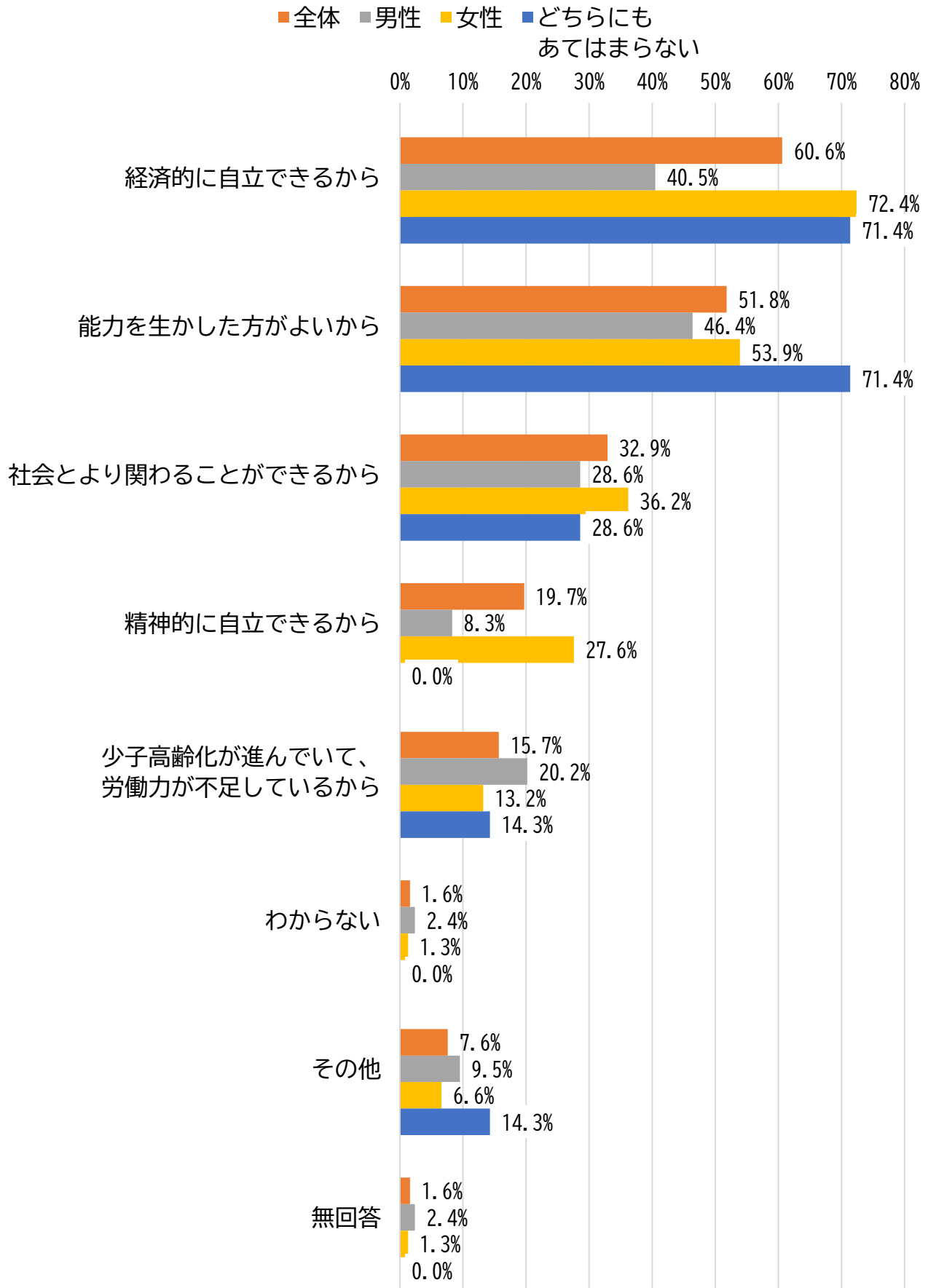
<性別>

- 問4において、「結婚や出産にかかわらず、働く方がよい」と回答した人に対する設問であることから、女性やどちらにもあてはまらない方の回答数が、男性の回答数よりも全体的に多くなっています。
- 全体で一番多い回答割合だった「経済的に自立できるから」の回答項目について、女性やどちらにもあてはまらない方の回答割合が7割を超えているのに対し、男性の回答割合は4割程であり、性別による大きな意識の違いが表れています。

(その他回答)

- ・女性の働く意思を尊重すべきだから。
- ・自分のやりたいことは、自分で決めることが大切だと思うから。
- ・仕事をしたい人が、仕事ができる社会が望ましいから。
- ・自分がやりたいと思うことを、結婚や出産に関わらずにしたほうが良いから。

第3章 調査結果の概要と分析



第3章 調査結果の概要と分析

女性が働く方がよいという考え方について、最も影響を受けた人物やツール

問6 女性が働く方がよい（もしくは、働かない期間があってよい）という考え方について、最も影響を受けたと思う人物やツールはどれですか。【○は1つだけ】

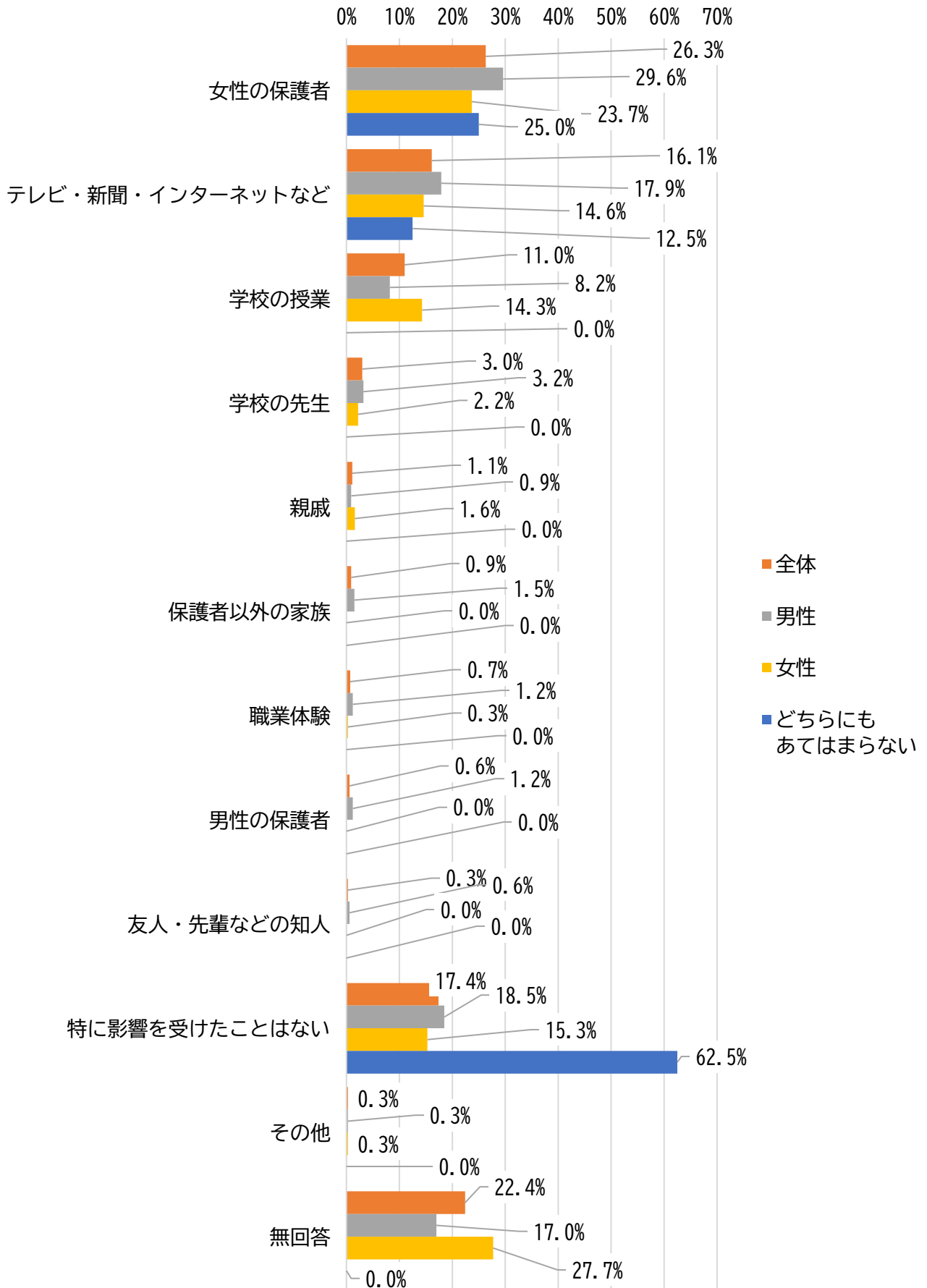
<全体>

- 「特に影響を受けたことはない(17.4%)」と回答した方を除くと、「女性の保護者(26.3%)」が最も多く、次いで「テレビ・新聞・インターネットなど(16.1%)」、「学校の授業(11.0%)」となっております。
- 全体で、「特に影響を受けたことはない」と回答した割合が17.4%、無回答が22.4%だったことから、60.2%の方々は、身の回りにあるものを手本にして意識を醸成している結果が見られます。

<性別>

- この設問については、性別毎に見ても、「特に影響を受けたことはない」という回答を除いた、上位3つの回答項目については同じ結果となりました。

第3章 調査結果の概要と分析



第3章 調査結果の概要と分析

将来の、家庭生活での役割分担

問7 あなたが将来家庭を持ったとしたら、①家事②育児 を主に誰がするのがよいと考えますか。【〇は1から6のそれぞれ1つだけ】

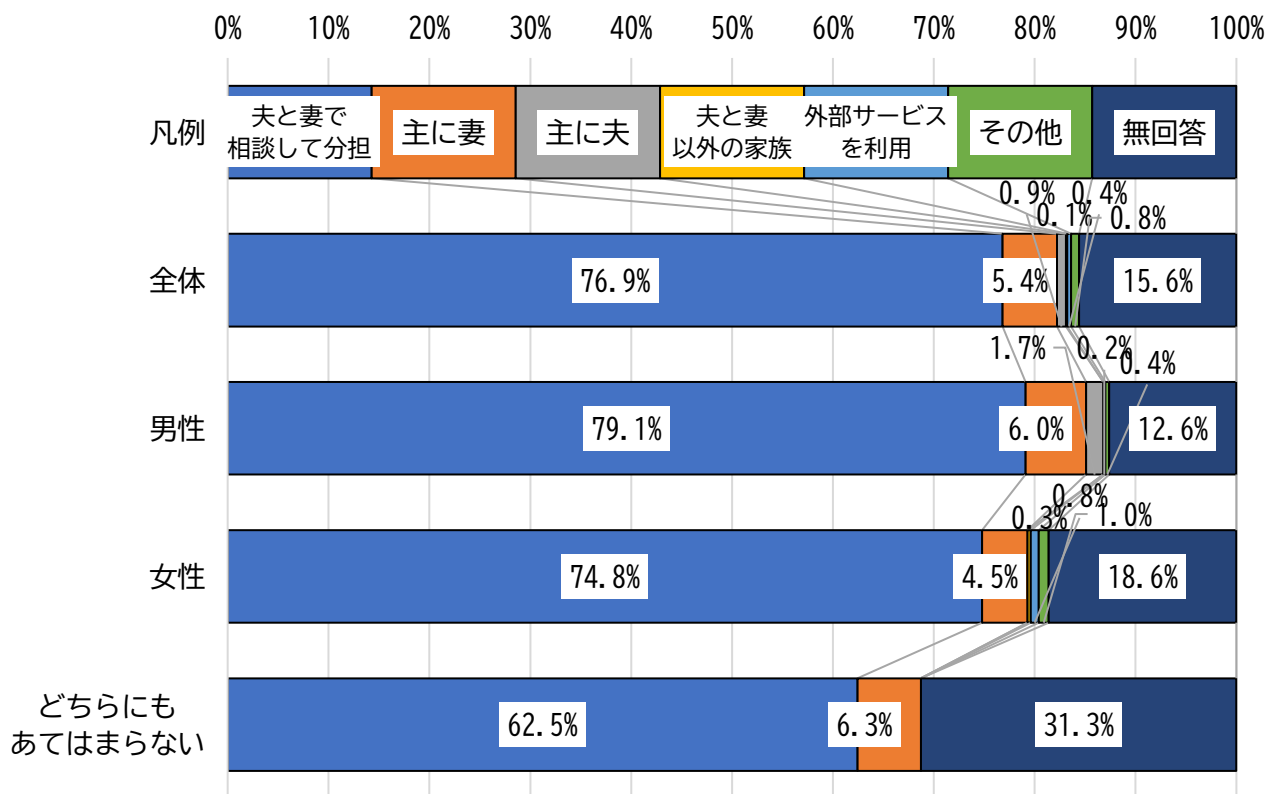
<全体>

○2つの項目とも、「夫と妻で相談して分担」の回答割合が7割を超えており、「夫は仕事、妻は家事」というような固定的役割分担意識はほとんど見受けられない結果となりました。

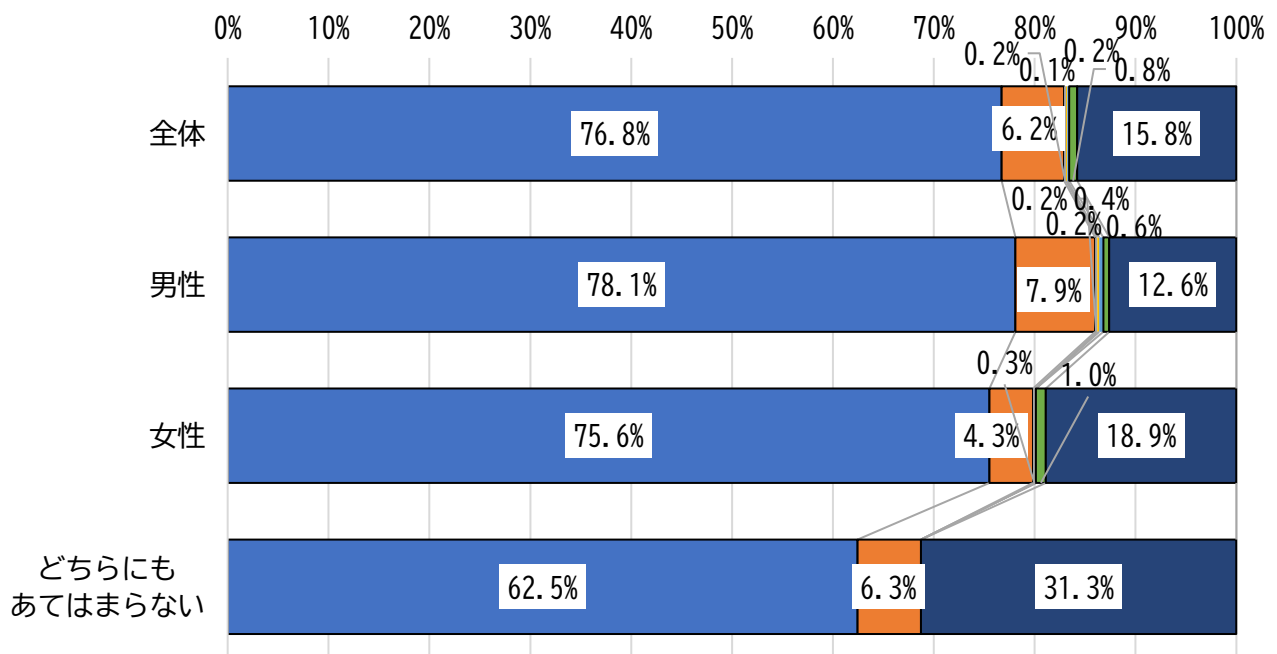
<性別>

○性別毎に見ると、「主に妻」と回答した割合は、2つの項目とも女性が一番低いのに対し、男性やどちらにもあてはまらないと回答した割合がわずかながら高い結果となっています。

問7-① 家事



問7-② 育児



第3章 調査結果の概要と分析

2. 高校卒業後の進路（希望）及び、将来の暮らしについて

卒業後の進路（希望）

問8 卒業後の進路（希望）を教えてください。【〇は1つだけ】

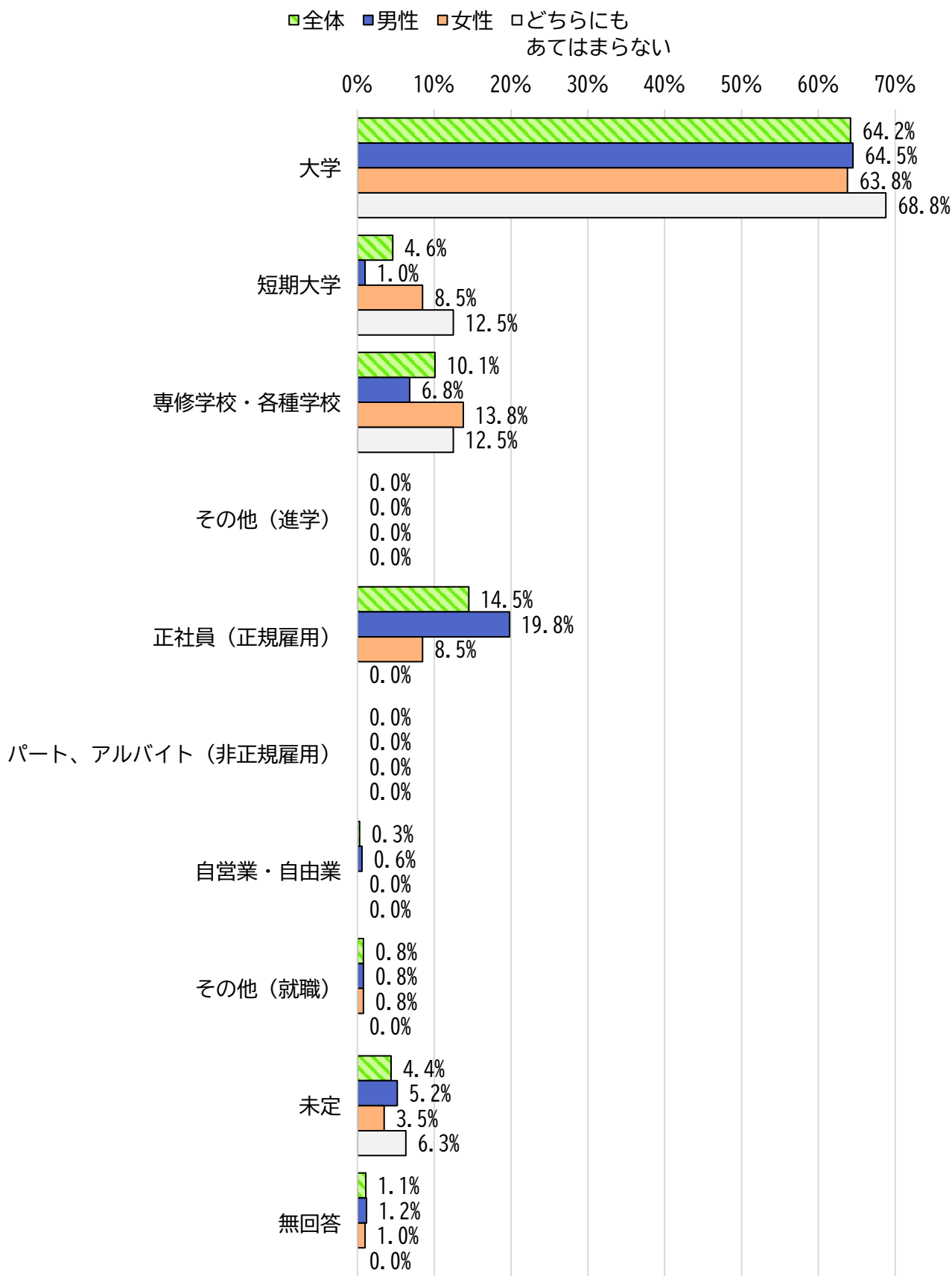
<全体>

- 「大学（64.2%）」が最も高く、次いで「正社員（正規雇用）（14.5%）」、「専修学校・各種学校（10.1%）」となっています。

<性別>

- 男性の回答割合は、「大学（64.5%）」が最も多く、次いで「正社員（正規雇用）（19.8%）」、「専修学校・各種学校（6.8%）」となっています。
- 女性の回答割合は、「大学（63.8%）」が最も多く、次いで「専修学校・各種学校（13.8%）」、同率で「短期大学（8.5%）」「正社員（正規雇用）（8.5%）」、となっています。
- どちらにもあてはまらない方の回答割合は、「大学（68.8%）」が最も多く、次いで同率で「短期大学（12.5%）」、「専修学校・各種学校（12.5%）」、「未定（6.3%）」となっています。
- 進学したい人（「大学」「短期大学」「専修学校・各種学校」「その他（進学）」の合計）の割合をみると、どちらにもあてはまらない方（93.8%）が最も多く、次いで女性（86.1%）、男性（72.3%）となっています。
- 就職したい人（「正社員（正規雇用）」「パート、アルバイト（非正規雇用）」「自営業・自由業」「その他（就職）」の合計）の割合をみると、男性（21.2%）が最も多く、次いで女性（9.3%）、どちらにもあてはまらない方（0%）となっています。

第3章 調査結果の概要と分析



第3章 調査結果の概要と分析

希望する学校の所在地

問9 希望する学校の所在地域を教えてください。【〇は1つだけ】

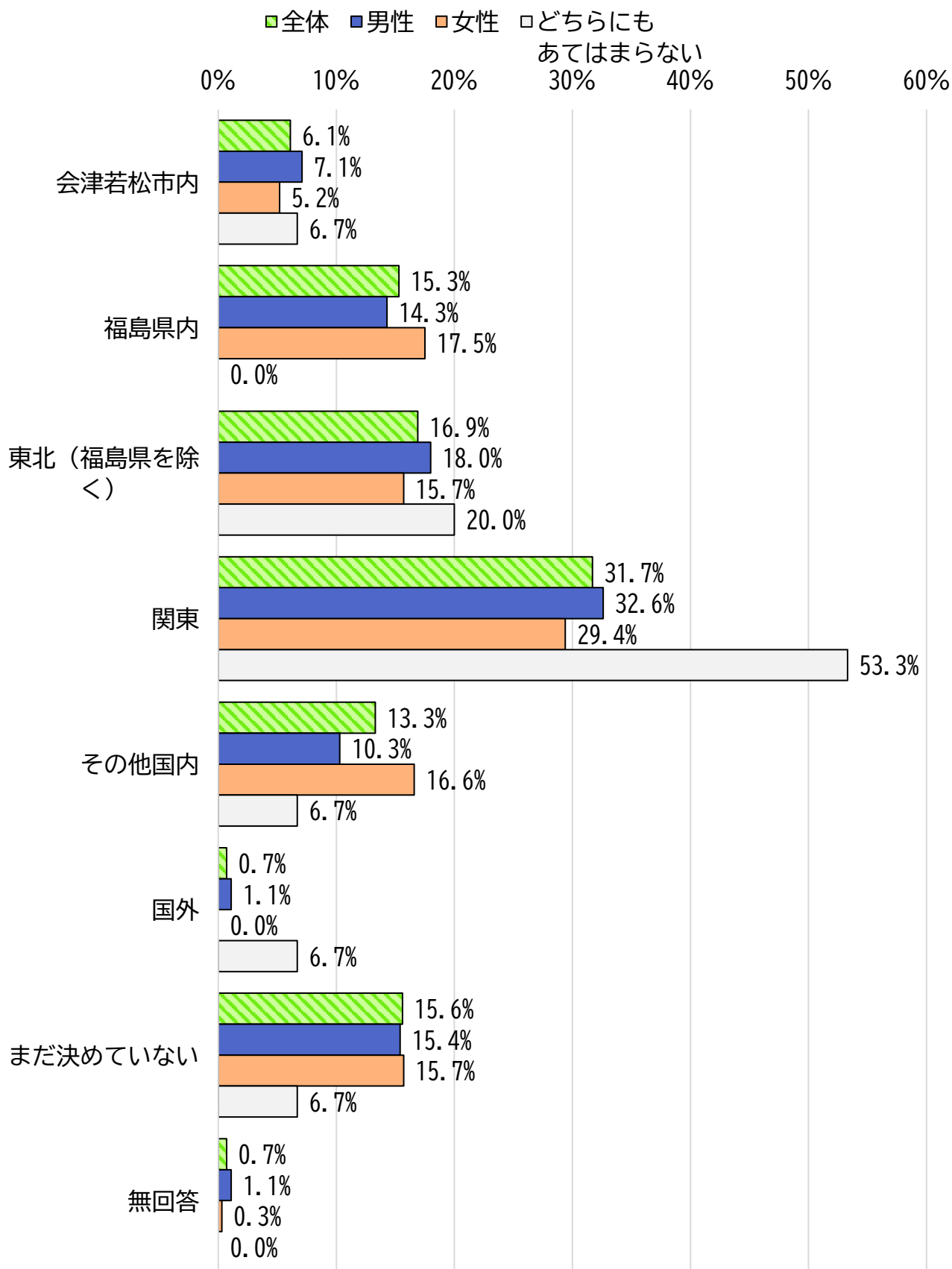
<全体>

- 「関東（31.7%）」が最も高く、次いで「東北（福島県を除く）（16.9%）」、「まだ決めていない（15.6%）」となっています。

<性別>

- 男性の進学したい人（問8で「大学」「短期大学」「専修学校・各種学校」「その他（進学）」と回答した人）の回答割合は、「関東（32.6%）」が最も多く、次いで「東北（福島県を除く）（18.0%）」、「まだ決めていない（15.4%）」となっています。
- 女性の進学したい人（問8で「大学」「短期大学」「専修学校・各種学校」「その他（進学）」と回答した人）の回答割合は、「関東（29.4%）」が最も多く、次いで「福島県内（17.5%）」、「その他国内（16.6%）」となっています。
- どちらにもあてはまらない方の進学したい人（問8で「大学」「短期大学」「専修学校・各種学校」「その他（進学）」と回答した人）の回答割合は、「関東（53.3%）」が最も多く、次いで「東北（福島県を除く）（20.0%）」、同率で「会津若松市内（6.7%）」「その他国内（6.7%）」「国外（6.7%）」「まだ決めていない（6.7%）」となっています。
- 「会津若松市内」の割合をみると、男性（7.1%）が最も多く、次いでどちらにもあてはまらない方（6.7%）、女性（5.2%）となっています。

第3章 調査結果の概要と分析



第3章 調査結果の概要と分析

学校の所在地を希望する理由

問10 問9の回答理由を教えてください。【〇はあてはまるものすべて】

<全体>

○「希望する学部・学科がある(50.1%)」が最も高く、次いで「希望する学校がある(35.7%)」、「希望する場所に住みたい(22.1%)」となっています。

<性別>

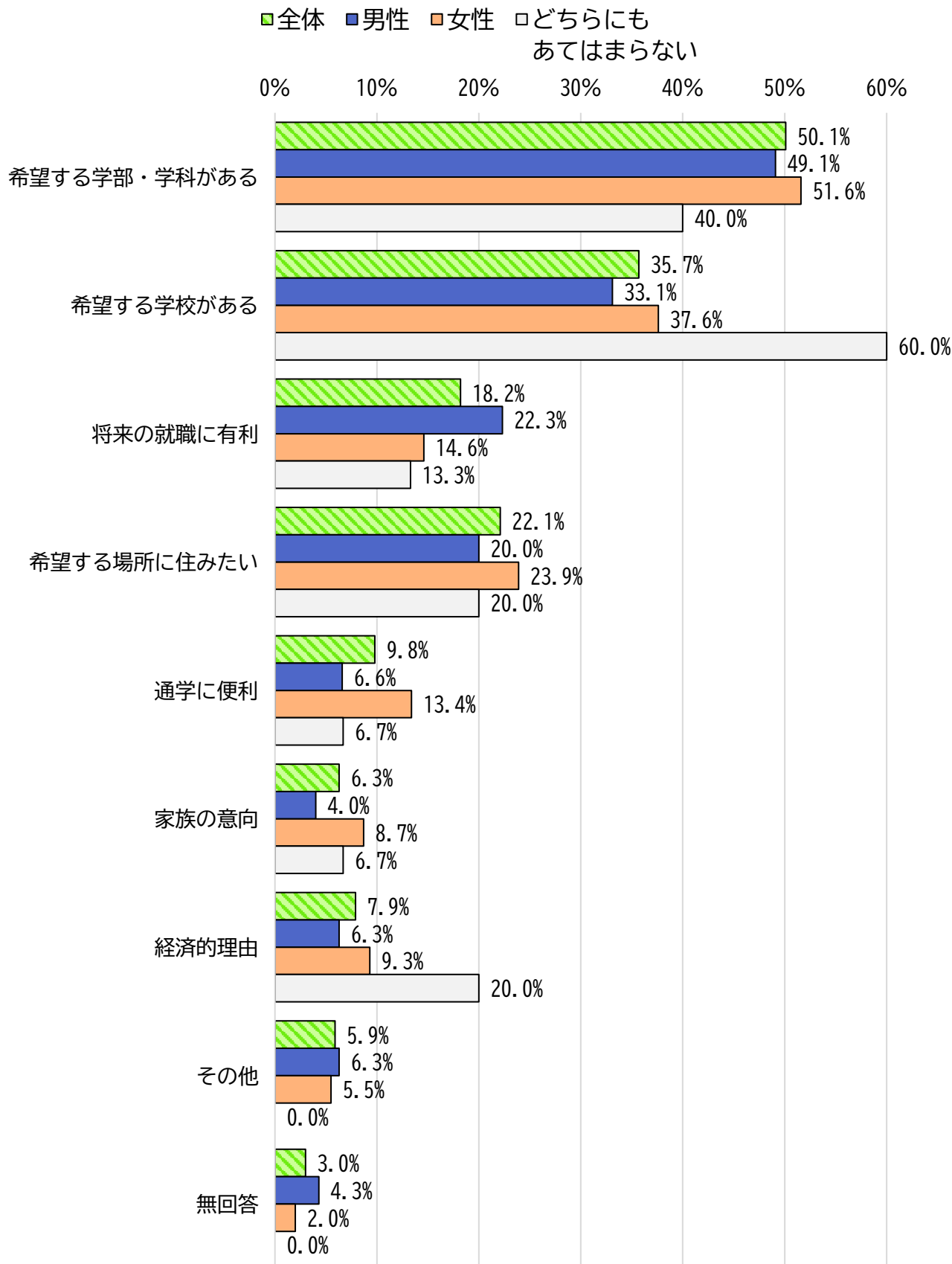
○男性の進学したい人(問8で「大学」「短期大学」「専修学校・各種学校」「その他(進学)」と回答した人)の回答割合は、「希望する学部・学科がある(49.1%)」が最も多く、次いで「希望する学校がある(33.1%)」、「将来の就職に有利(22.3%)」となっています。

○女性の進学したい人(問8で「大学」「短期大学」「専修学校・各種学校」「その他(進学)」と回答した人)の回答割合は、全体の回答割合の順位と同様になっており、「希望する学部・学科がある(51.6%)」が最も多く、次いで「希望する学校がある(37.6%)」、「希望する場所に住みたい(23.9%)」となっています。

○どちらにもあてはまらない方の進学したい人(問8で「大学」「短期大学」「専修学校・各種学校」「その他(進学)」と回答した人)の回答割合は、「希望する学校がある(60.0%)」が最も多く、次いで「希望する学部・学科がある(40.0%)」、「希望する場所に住みたい(20.0%)」となっています。

○性別によって、回答割合の順位が異なります。

第3章 調査結果の概要と分析



就きたい業種

問11 あなたが、就きたい業種を教えてください。【〇は1つだけ】

<全体>

○「未定(18.0%)」を除くと、「医療・福祉(16.3%)」が最も多く、次いで「その他(12.6%)」、「教育・学習支援(11.2%)」となっています。

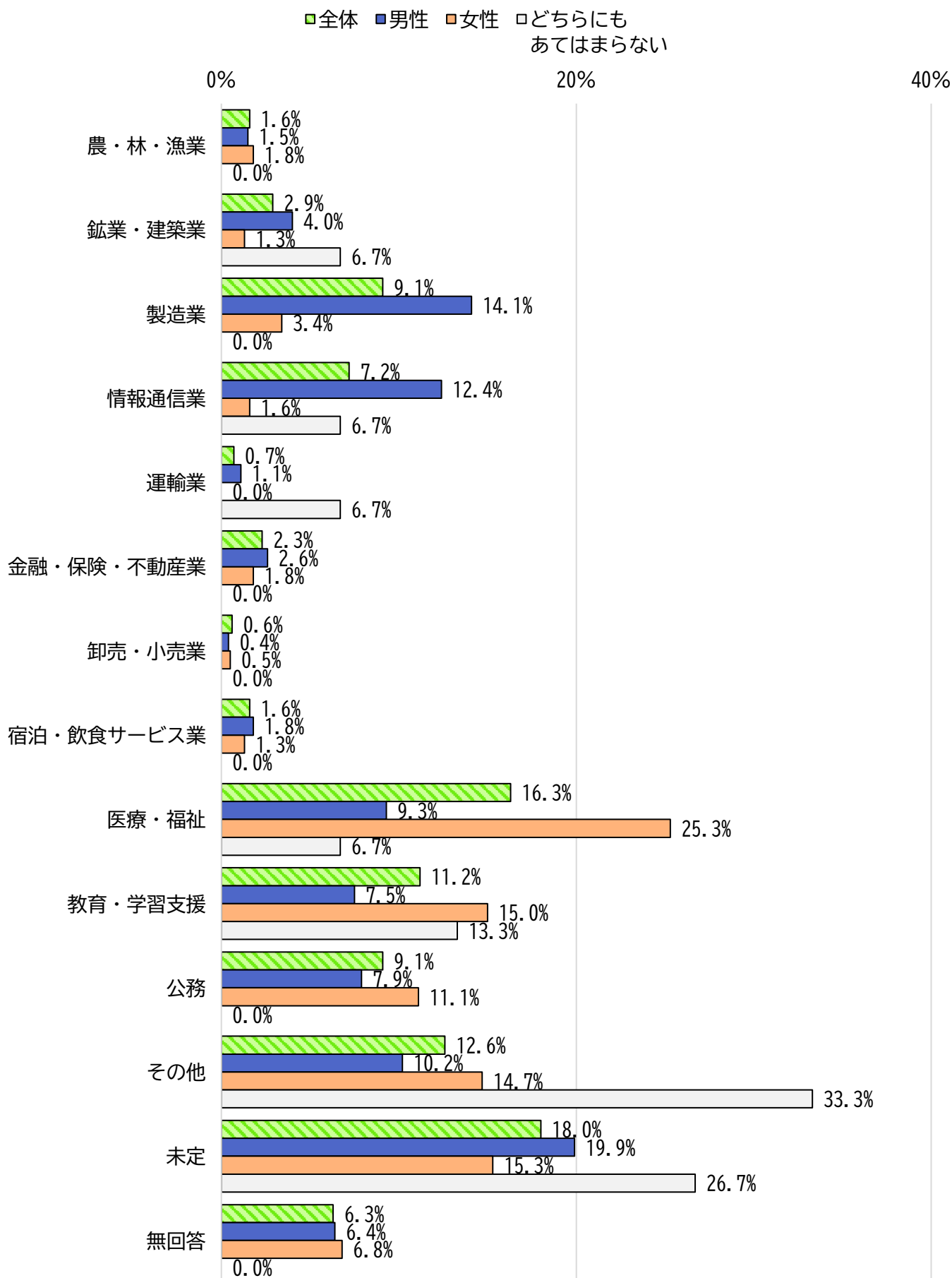
<性別>

○男性(問8で「未定」以外の回答をした人)の回答割合は、「未定(19.9%)」を除くと、「製造業(14.1%)」が最も多く、次いで「情報通信業(12.4%)」、「その他(10.2%)」となっています。

○女性(問8で「未定」以外の回答をした人)の回答割合は、「未定(15.3%)」を除くと、「医療・福祉(25.3%)」が最も多く、次いで「教育・学習支援(15.0%)」、「その他(14.7%)」となっています。

○どちらにもあてはまらない方(問8で「未定」以外の回答をした人)の回答割合は、「未定(26.7%)」を除くと、「その他(33.3%)」が最も多く、次いで「教育・学習支援(13.3%)」、同率で「鉱業・建築業(6.7%)」「情報通信業(6.7%)」「医療・福祉(6.7%)」となっています。

第3章 調査結果の概要と分析



第3章 調査結果の概要と分析

働きたい地域

問12 将来、どの地域で働きたいですか。【〇は1つだけ】

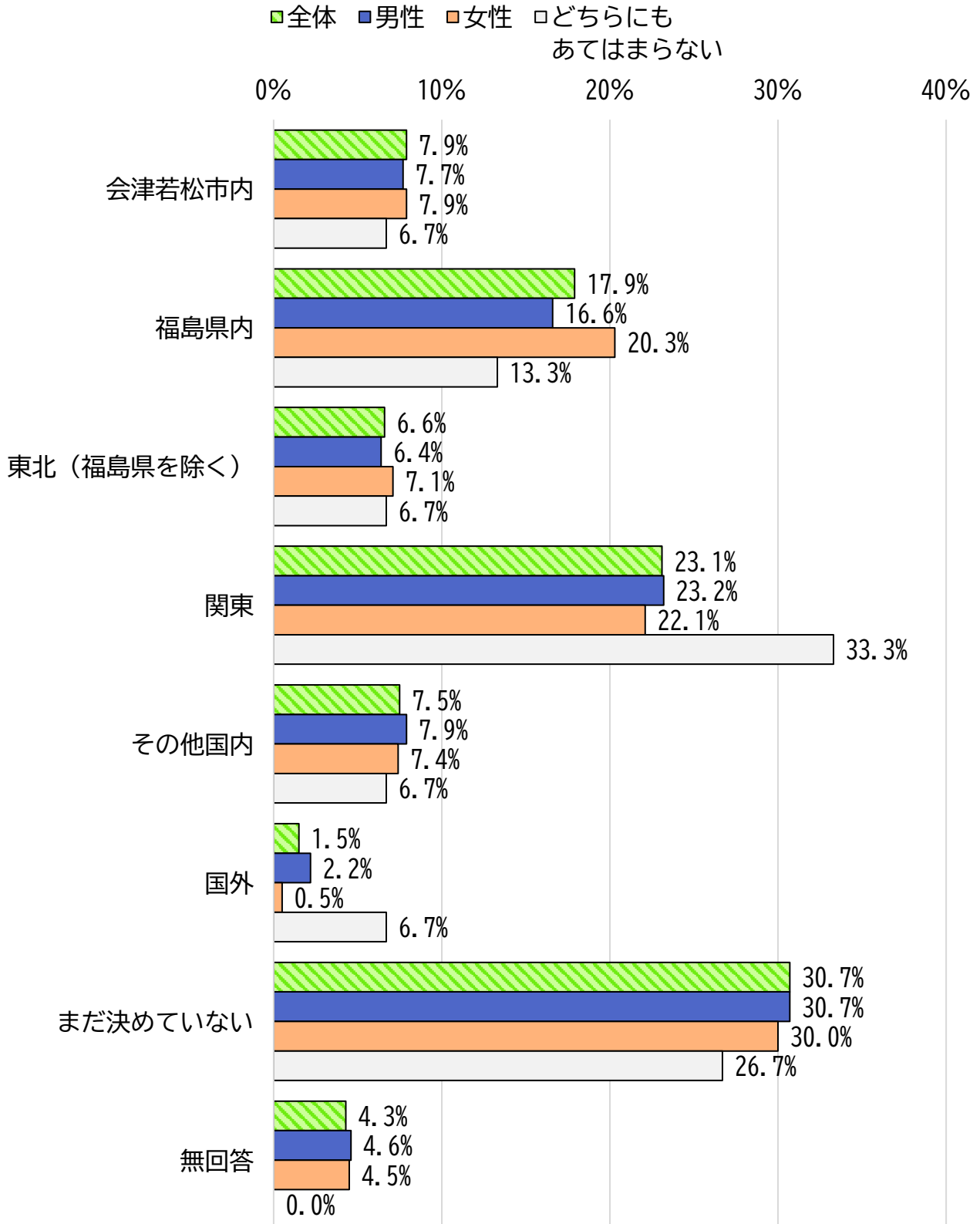
<全体>

- 「まだ決めていない(30.7%)」を除くと、「関東(23.1%)」が最も多く、次いで「福島県内(17.9%)」、「会津若松市内(7.9%)」となっています。

<性別>

- 男性(問8で「未定」以外の回答をした人)の回答割合は、「まだ決めていない(30.7%)」を除くと、「関東(23.2%)」が最も多く、次いで「福島県内(16.6%)」、「その他国内(7.9%)」となっています。
- 女性(問8で「未定」以外の回答をした人)の回答割合は、「まだ決めていない(30.0%)」を除くと、「関東(22.1%)」が最も多く、次いで「福島県内(20.3%)」、「会津若松市内(7.9%)」となっています。
- どちらにもあてはまらない方(問8で「未定」以外の回答をした人)の回答割合は、「まだ決めていない(26.7%)」を除くと、「関東(33.3%)」が最も多く、次いで「福島県内(13.3%)」、同率で「会津若松市内(6.7%)」「東北(福島県を除く)(6.7%)」「その他国内(6.7%)」「国外(6.7%)」となっています。
- 「会津若松市内」で働きたいとする回答割合は、全ての性別で10%を下回っており、特にどちらにもあてはまらない方の回答割合が少ない結果となっております。

第3章 調査結果の概要と分析



第3章 調査結果の概要と分析

働きたい地域を希望する理由

問13 問12の回答理由を教えてください。【〇はあてはまるものすべて】

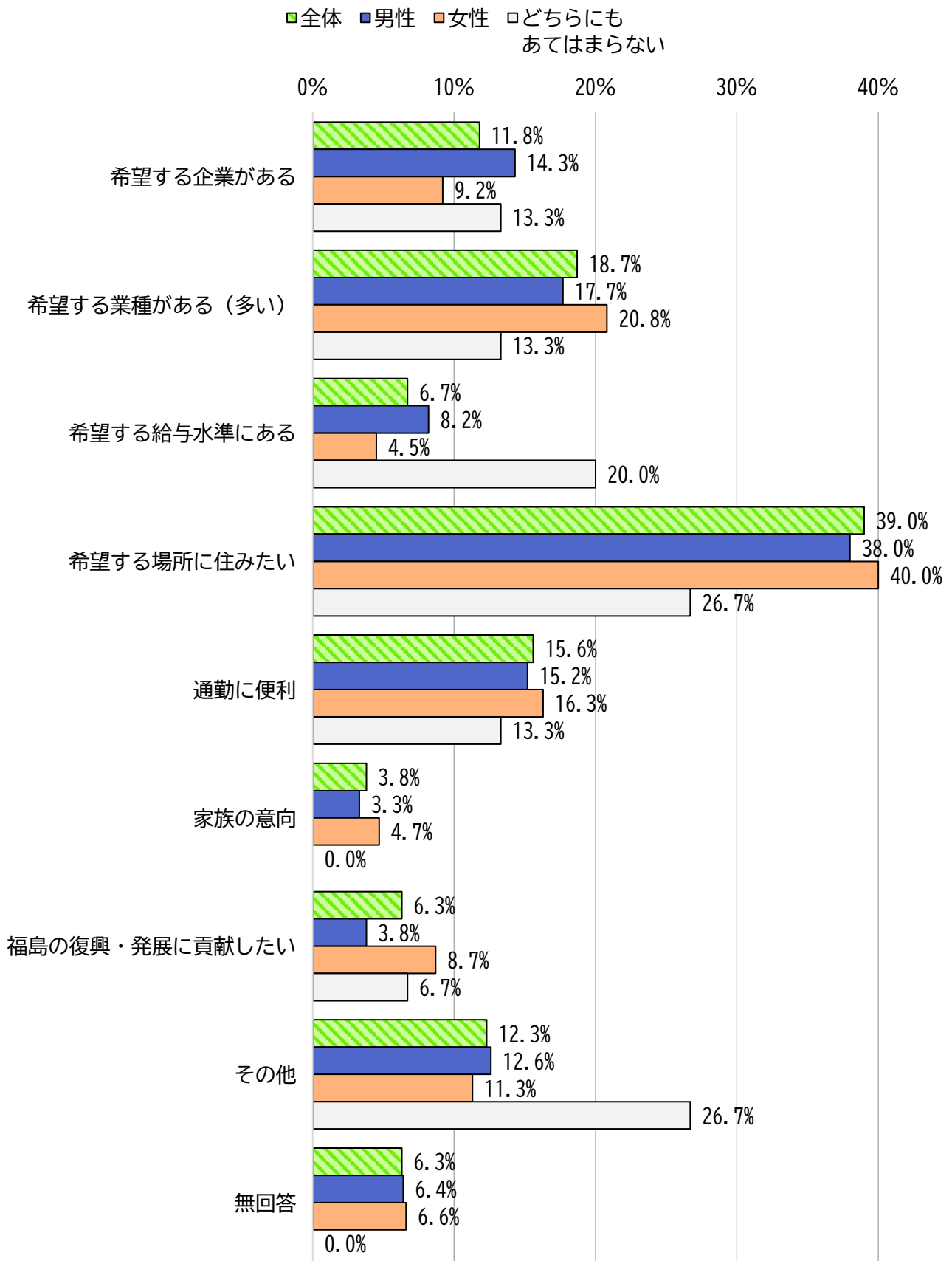
<全体>

- 「希望する場所に住みたい (39.0%)」が最も多く、次いで「希望する業種がある (多い) (18.7%)」、「通勤に便利 (15.6%)」となっています。

<性別>

- 男性 (問8で「未定」以外の回答をした人) の回答割合は、「希望する場所に住みたい (38.0%)」が最も多く、次いで「希望する業種がある (多い) (17.7%)」、「通勤に便利 (15.2%)」となっています。
- 女性 (問8で「未定」以外の回答をした人) の回答割合は、「希望する場所に住みたい (40.0%)」が最も多く、次いで「希望する業種がある (多い) (20.8%)」、「通勤に便利 (16.3%)」となっています。
- どちらにもあてはまらない方 (問8で「未定」以外の回答をした人) の回答割合は、同率で「希望する場所に住みたい (26.7%)」、「その他 (26.7%)」が最も多く、次いで「希望する給与水準にある (20.0%)」、「希望する企業がある (13.3%)」、「希望する業種がある (多い) (13.3%)」、「通勤に便利 (13.3%)」となっています。
- どの性別でも「希望する場所に住みたい」が最も多く、勤務地については、企業や業種よりも、住みたい地域で希望している傾向が表れています。

第3章 調査結果の概要と分析



第3章 調査結果の概要と分析

将来、本市に住みたいかについて

問14 あなたは、将来会津若松市に住みたいと思いますか。【○は1つだけ】

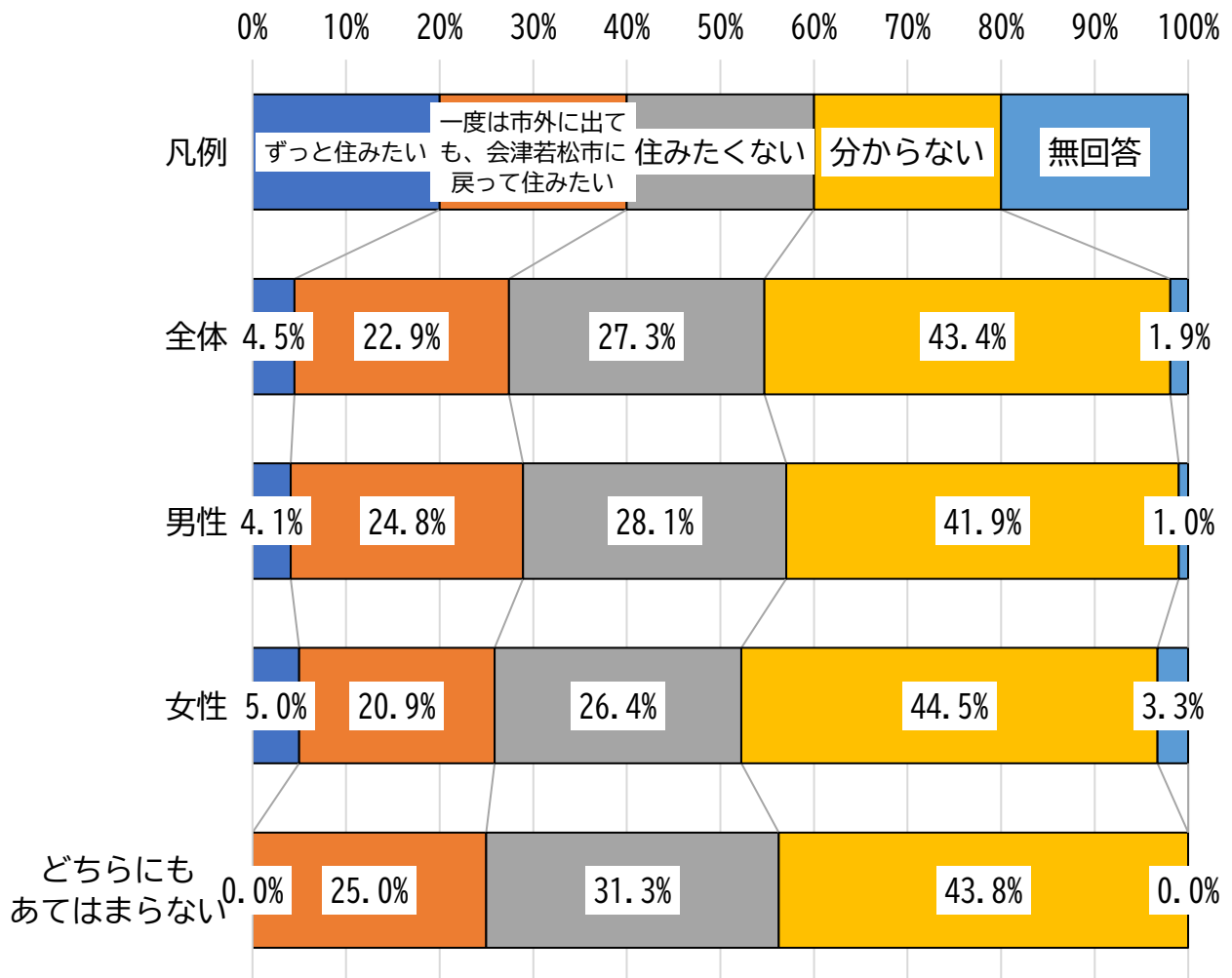
<全体>

- 「分からない(43.4%)」を除くと、「住みたくない(27.3%)」が最も多く、次いで「一度は市外に出ても、会津若松市に戻って住みたい(22.9%)」、「ずっと住みたい(4.5%)」となっています。
- 住みたいとする人(「ずっと住みたい」と回答した人と「一度は市外に出ても、会津若松市に戻って住みたい」と回答した人の合計)と住みたくないとする人を比較すると、全体で見ると、住みたいとする人の方が多いことが伺えます。

<性別>

- 「分からない」を除くと、どの性別で見ても、全体と同じ、回答割合の順位になる結果になりました。
- 性別ごとに、住みたいとする人と住みたくない人を比較してみると、住みたいとする人が住みたくない人を上回るのは男性のみで、女性やどちらにもあてはまらない方は住みたくないとする人の方が多い結果となっています。

第3章 調査結果の概要と分析



本市に住みたい理由

問 15 問 14 の回答（会津若松市に住みたい）の理由を教えてください。【〇は3つまで】

<全体>

○「地元の生活に慣れている（44.9%）」が最も多く、次いで「両親や祖父母の近くで生活したい（39.0%）」、同率で、「地元友人、知人が多い（26.0%）」、「ゆとりのある暮らしができる（26.0%）」となっています。

<性別>

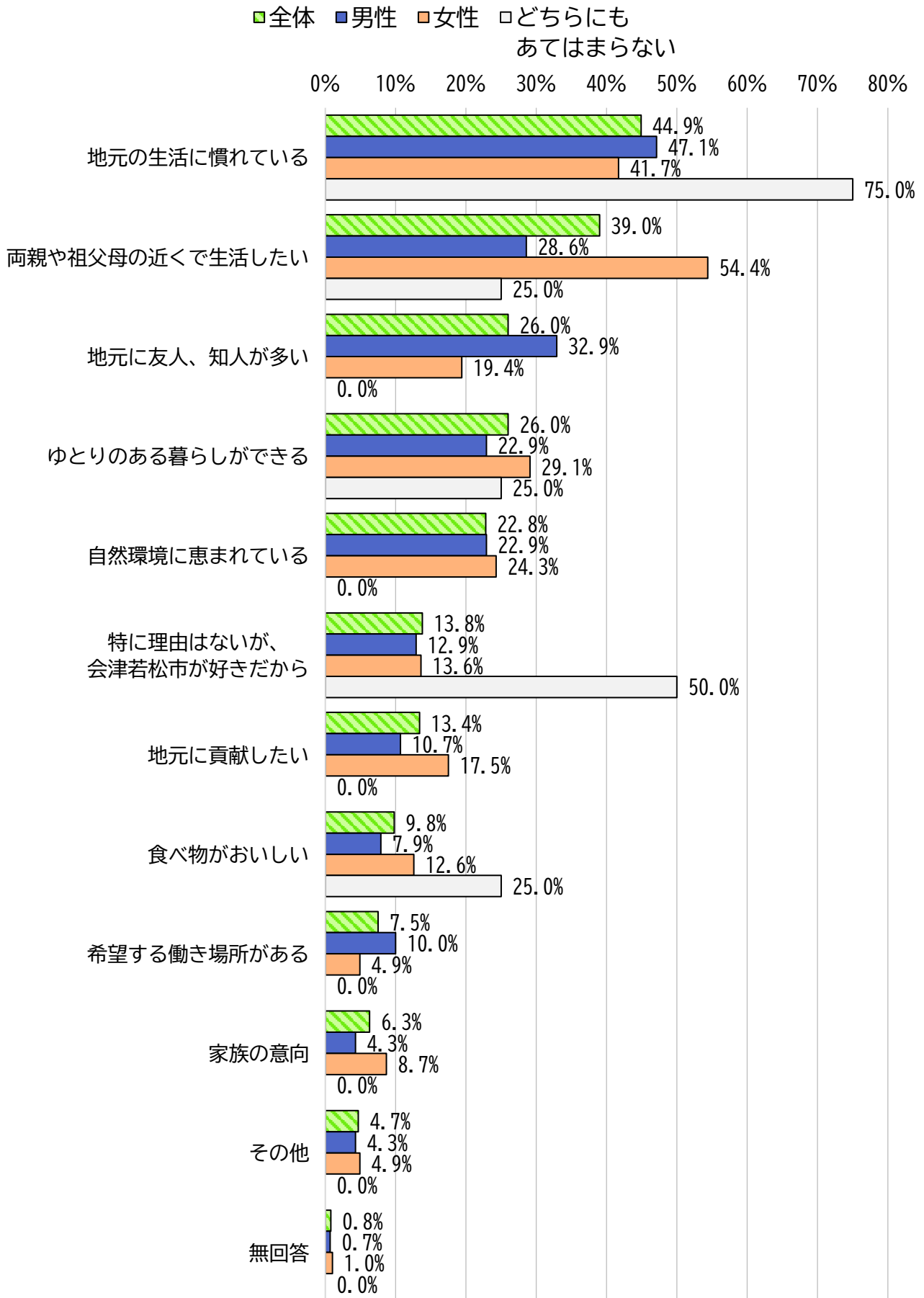
○会津若松市に住みたい男性（問 14 で「ずっと住みたい」「一度は市外に出ても、会津若松市に戻って住みたい」と回答した人の合計）の回答割合は、「地元の生活に慣れている（47.1%）」が最も多く、次いで「地元友人、知人が多い（32.9%）」、「両親や祖父母の近くで生活したい（28.6%）」となっています。

○会津若松市に住みたい女性（問 14 で「ずっと住みたい」「一度は市外に出ても、会津若松市に戻って住みたい」と回答した人の合計）の回答割合は、「両親や祖父母の近くで生活したい（54.4%）」が最も多く、次いで「地元の生活に慣れている（41.7%）」、「ゆとりのある暮らしができる（29.1%）」となっています。

○会津若松市に住みたいどちらにもあてはまらない方（問 14 で「ずっと住みたい」「一度は市外に出ても、会津若松市に戻って住みたい」と回答した人の合計）の回答割合は、「地元の生活に慣れている（75.0%）」が最も多く、次いで「特に理由はないが、会津若松市が好きだから（50.0%）」、同率で「両親や祖父母の近くで生活したい（25.0%）」、「ゆとりのある暮らしができる（25.0%）」、「食べ物がおいしい（25.0%）」となっています。

○性別ごとに、住みたいとする理由に大きな違いのある結果となりました。

第3章 調査結果の概要と分析



第3章 調査結果の概要と分析

本市に住みたくない理由

問16 問14の回答（会津若松市に住みたくない）の理由を教えてください。【〇は3つまで】

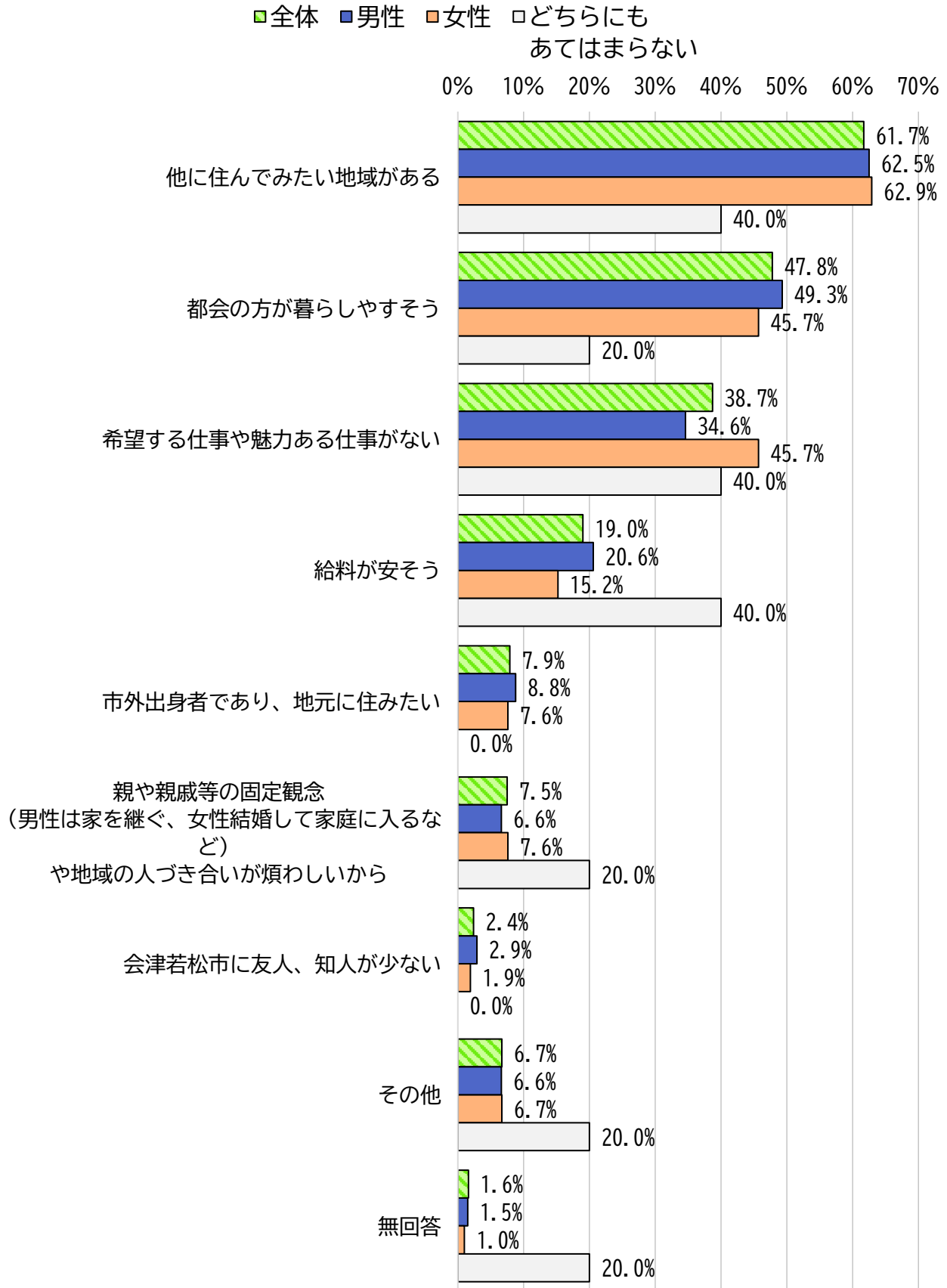
<全体>

- 「他に住んでみたい地域がある（61.7%）」が最も多く、次いで「都会の方が暮らしやすそう（47.8%）」、「希望する仕事や魅力ある仕事がない（38.7%）」となっています。

<性別>

- 会津若松市に住みたくない男性の回答割合は、「他に住んでみたい地域がある（62.5%）」が最も多く、次いで「都会の方が暮らしやすそう（49.3%）」、「希望する仕事や魅力ある仕事がない（34.6%）」となっています。
- 会津若松市に住みたくない女性の回答割合は、「他に住んでみたい地域がある（62.9%）」が最も多く、次いで同率で「都会の方が暮らしやすそう（45.7%）」「希望する仕事や魅力ある仕事がない（45.7%）」、「給料が安そう（15.2%）」となっています。
- 会津若松市に住みたくないどちらにもあてはまらない方の回答割合は、同率で「他に住んでみたい地域がある（40.0%）」「希望する仕事や魅力ある仕事がない（40.0%）」「給料が安そう（40.0%）」が最も多く、次いで、同率で「都会の方が暮らしやすそう（20.0%）」「親や親戚等の固定観念（20.0%）」「その他（20.0%）」となっています。

第3章 調査結果の概要と分析



第3章 調査結果の概要と分析

本市への思いについて

問17 これから、会津若松市がどのようなまちになってほしいと思いますか。【〇は3つまで】

<全体>

○「快適な生活環境（34.4%）」が最も多く、次いで「買い物が便利（34.2%）」、「遊び場所が多い（33.9%）」となっています。

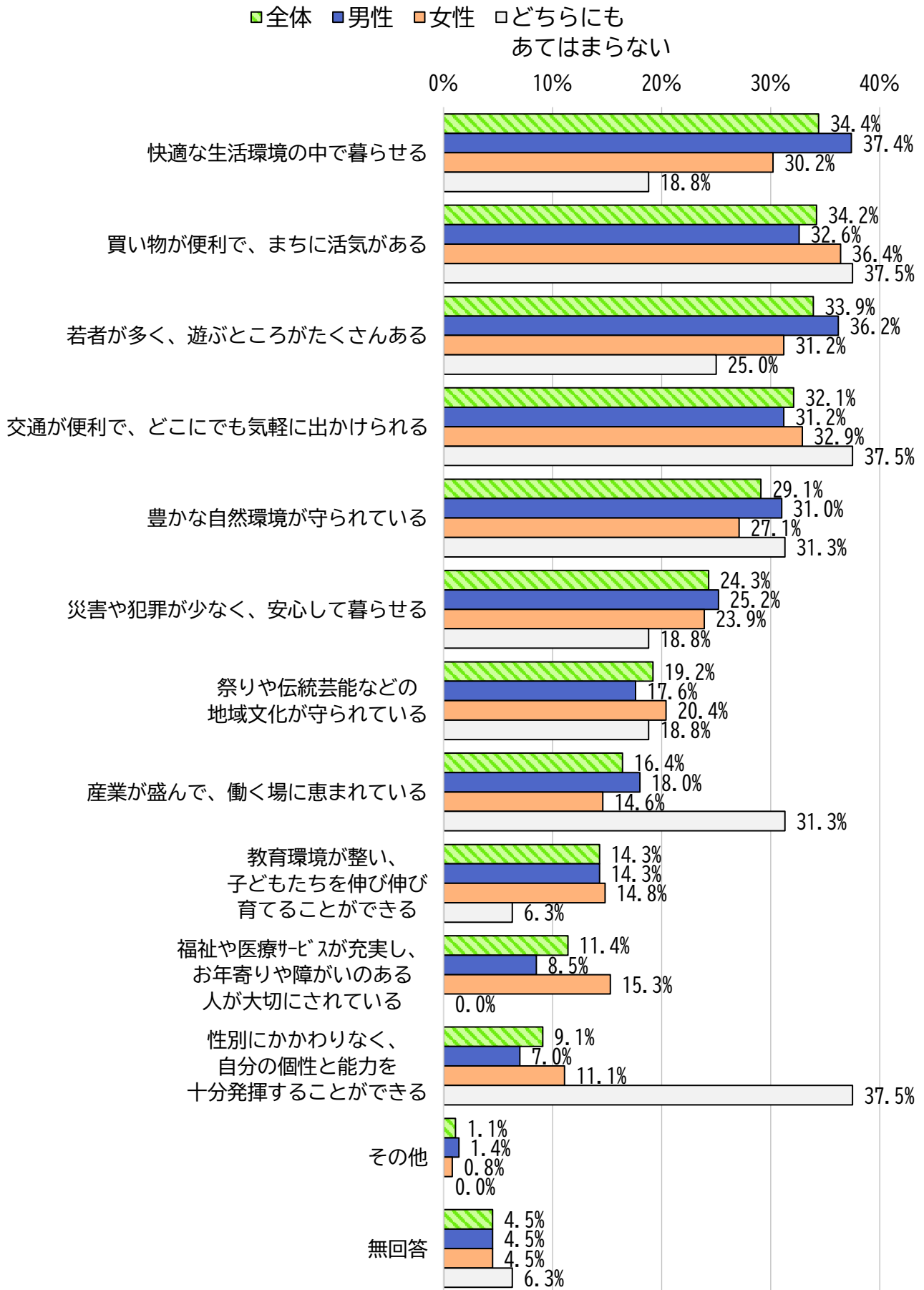
<性別>

○男性の回答割合は、「快適な生活環境（37.4%）」が最も多く、次いで「遊び場所が多い（36.2%）」、「買い物が便利（32.6%）」となっています。

○女性の回答割合は、「買い物が便利（36.4%）」が最も多く、次いで「便利な交通（32.9%）」、「遊び場所が多い（31.2%）」となっています。

○どちらにもあてはまらない方の回答割合は、同率で「便利な交通（37.5%）」「買い物が便利（37.5%）」「性別にかかわらず活躍できる（37.5%）」が最も多く、次いで、同率で「豊かな自然環境（31.3%）」「盛んな産業（31.3%）」、「遊び場所が多い（25.0%）」となっています。

第3章 調査結果の概要と分析



第3章 調査結果の概要と分析

第4章 自由記入

第4章 自由記入

◆自由記入

全回答者 927 人中、男性 12 人、女性 9 人、どちらにもあてはまらない 2 名、性別無回答 1 人の計 24 人の回答が寄せられました。

※ここでは、寄せられた意見を関連項目毎に分け、性別毎に基本的に原文のまま掲載します。

<平等感・男女共同参画全般>

性別	回答
男性	<p>企業にも様々な理由があっても、子育てができる（しやすい）社会がいいと思う。</p> <p>子育てをする機会や時間が減ってしまうと、乱暴気のある子に育ちやすいと思う。（積極性のない子も同様）社会人になった時さらに困る。</p> <p>子育てをする環境があってこそ、子ども（子育てする人）が増えると思う。男女共同参画があるが、実際に声を出せる人は少ないと思う。学校など学ぶ気のある子もいればいない子もいるので、勉強よりも人生設計についての時間を多く取り入れた方がいい。それにより、自分がどう生きたいのか、何をしたいのか、何をすればいいのか、覚悟が生まれる。（考え方が多くなる）学校（社会）に悪影響をおよぼすのは、子育てが悪いからなのかと考える機会が少なすぎるからだと思います。</p> <p>「自分らしく」と言っておきながら、社会人になった時に、それを否定するのは間違っている。</p>
男性	<p>男と女では同じ生物ではないので、平等にする事自体ができないことだと個人的には考えています。平等ではなく、どちらも納得のいくようにしていくべき。</p>
男性	<p>どこも、こういう社会になってほしい。</p>
男性	<p>先日、「炎上CMでよみとくジェンダー論」という本を読んだ際に「男性のみの意見で決められたように受け取れるCMが炎上してしまった。」という風なことが書かれていました。男性だけで決めたとしても、その決めたものはどんな人たちの目にふれるのかは分かりません。日本において、ジェンダーの問題はこれからさらに重要となり難しいテーマとなると思います。（僕は、日本がジェンダーに最近まで関心が薄かったことが残念ですが）さまざまな人、年代から支持が得られるように取り組んでほしいです。また、僕は高校に行くために下宿しているのですが、周りの家や建物を気にせずに遊べる場所は貴重なんだと日々感じているので、そういう場所は大切にしていってほしいです。</p> <p>※「炎上でよみとくジェンダー論」著：瀬地山 角（出版社：光文社新書）</p>

性別	回答
男性	どこかでお互い妥協しなければならない。
男性	男女平等であることはとても難しく、いくら規則を作っても一人ひとりの市民の意識が変わらなければ根本的な解決にはなりはしない。また近年、男女平等を数字のみで判断する風習がある。「女性の社員は～%」「女性の国会議員は～%」等、あくまでも男女平等であって50%50%にするのが平等というわけではない。能力型社会のような適材適所に平等に割り振られるようにしてほしい。
男性	女性の権利を守るという名目で、女性ばかりを優先することをしないでほしい。
女性	性別で決めつけることが多い世の中ですが、これからは平等に近いようになってほしいと思った。
女性	昔は「男は仕事、女は育児」と言われていた時代でしたが、今は男女平等の時代になりました。男は〇〇、女は〇〇という言葉は正に男女不平等なので、性別がない人のためにもそのような言葉は一切なくしてほしいと思います。私が将来家庭を持つとしたら、夫妻で家事や育児を分担して充実した日常生活を送りたいです。
女性	結婚して子どもができた後でも働きたい女性は働いたら良いと思うけど、働かないで家事だけをしていきたい女性もいると思うから、男女共同参画は女性も働くことを強制されている感じがした。夫婦の間で話し合えば男性が仕事、女性が家事でも良いと思う。
女性	一般で男女平等について話し合うのは良いと思いますが、メディアでの過度なジェンダーへの対応は見直した方がいいと思います。(女性車両の有無等)
女性	親や祖父母間で男女差があった場合、子どもはそれを見て育つからなかなか意識を変えるのは難しいんじゃないかと思います。ですが、将来は男女間の差がなくなった社会が当たり前になって欲しいです。
女性	男は家事をやらなすぎると思う!!

<多様性について>

性別	回答
女性	私の家庭では、男女の差別が大きいと感じるからその価値観を合わせたい。性的少数者の人々が暮らしやすい町づくりをしてほしい。
どちらにもあてはまらない	学校で性の多様性が認められている気が全くしない。(制服や授業内容など)
どちらにもあてはまらない	男女の制服のちがいについて考えてみてほしい。着たい制服を着れば良いと思う。

<給与関連>

性別	回答
男性	給料を上げる
無回答	給料を平等に。

<意識調査について>

性別	回答
男性	このアンケートで、どの質問に回答すればよいか分かりにくい。(問5に回答した場合に問6、問7に回答するのかなど)
女性	問4に関し、ただ単に「女性も働くべき」とくくってしまうのはいかがなものか。男性・女性問わず、本人の「働きたい」「仕事がしたい」という思いがあって、その上で労働環境の調整があるのではないかと思います。働きたくない男性や女性を否定して、いないように扱うのは真に多様性なのか。

<その他>

性別	回答
男性	とてもいいと思います。
男性	子供や高齢者にとっては自然豊かで住みやすいと感じるので若者にも住みやすい街になってほしい。
男性	全ての公務員の皆さん、いつもお疲れ様です。そして、ありがとうございます。
女性	がんばって下さい。応援してます。

資料 調査票

高校生向け 男女共同参画に関する意識調査

—意識調査へのご協力をお願い—

会津若松市では、男女共同参画社会の実現に向けて、「第5次会津若松市男女共同参画推進プラン」という計画を策定し、様々な取組を行っています。

この調査は、『会津若松市における男女共同参画社会の実現の度合い』を確認するとともに、『より男女共同参画社会を実現するためにどうしていくべきか』を考える資料にすることを目的に、高校生の皆さんの、意識や考え方を伺いたいと考えております。

つきましては、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的な処理以外には使用せず、回答者が特定されることは決してありません。

令和4年7月 会津若松市長 室井 照平

「男女共同参画社会」とは…

「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会」です。

※参画＝事業・政策などの計画段階から加わること≠参加

【男女共同参画の具体例】

- ・「男は仕事、女は家事・育児！」と、話し合いもなく性別で役割を決めつけないこと
- ・男らしさ、女らしさという言葉で、人の性格や行動を決めつけないこと
- ・一人ひとりが「自分らしく」輝くこと など

【男女共同参画はなぜ必要なのか】

今の社会では男性の役割・女性の役割など、個人ではなく「性別」によって生き方や働き方が決められてしまうことがあります。

そこで世界中で法律や制度を変えたり、教育やメディアを通じて意識を高める活動を行うことで、社会的・文化的に作られた性別(ジェンダー)を問い直し、男女共同参画社会づくりのための取組が行われています。

こうした取組は、SDGsの中でもとても重要なテーマとなっています。

各質問のあてはまる番号に○をつけてください。

なお、その他を選んだ場合と自由記入欄については、ご記入ください。

はじめに、あなた自身のことについてお伺いします。

(1) あなたの性別(性自認※)を教えてください。【○は1つだけ】

- 1 男性
- 2 女性
- 3 どちらにもあてはまらない

※性自認(こころの性)とは…

自分の性をどのように認識しているかを表す概念であり、生まれ持った身体的性別(からだの性)と一致する場合もあれば、そうでない場合もあります。

(2) あなたが小学生の頃、女性の保護者は働いていましたか。【○は1つだけ】

- 1 働いていた
- 2 働いていなかった
- 3 覚えていない
- 4 その他()

(3) あなたが小学生の頃、家事・子育ては主に誰が行っていましたか。【○は1つだけ】

- 1 主として女性の保護者が行っていた
- 2 主として男性の保護者が行っていた
- 3 両方で協力して行っていた
- 4 覚えていない
- 5 その他()

(4) 小学校から高校で、これまでに「男女共同参画」(表紙の具体例)について学んだことはありますか。【○は1つだけ】

- 1 学んだことがある
- 2 学んだことはない
- 3 覚えていない

1. 男女共同参画に対する考え方についてお伺いします。

問1 次の①から⑥の言葉をご存じですか。【〇は1から3の数字をそれぞれ1つだけ】

	いる 言葉も意味も知って	ない あるが、意味は知らない	知らない
① セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)	1	2	3
② LGBT(エルジービーティー)	1	2	3
③ ダイバーシティ(多様性)	1	2	3
④ DV(ドメスティック・バイオレンス)	1	2	3
⑤ 男女共同参画社会 ※表紙記載の意味	1	2	3
⑥ ジェンダー(社会的性別)	1	2	3

問2 次の①から④の分野で、男女は平等だと思いますか。

【〇は1から6の数字をそれぞれ1つだけ】

	優遇されている 男性が	どちらかといえ ば男性が優遇 されている	平等	どちらかといえ ば女性が優遇 されている	優遇されている 女性が	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 学校教育	1	2	3	4	5	6
③ 法律や制度	1	2	3	4	5	6
④ 社会全体	1	2	3	4	5	6

問3 次の①から④のような意見について、どのように考えますか。

【○は1から5の数字をそれぞれ1つだけ】

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
① 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
② 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
③ 女性は結婚したら自分のことより、夫や子どもを中心に考えて生活した方がよい	1	2	3	4	5
④ 結婚しても必ず子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5

問4 あなたは、女性が働くことについて、どう考えますか。【○は1つだけ】

- 1 結婚するまでは働く方がよい →【問6】へ
- 2 子どもができるまでは、働く方がよい →【問6】へ
- 3 子どもができたら働くのをやめ、大きくなったら再び働く方がよい →【問6】へ
- 4 結婚や出産にかかわらず、働く方がよい →【問5】へ
- 5 わからない →【問7】へ
- 6 その他() →【問7】へ

問5 結婚や出産にかかわらず、女性が働く方がよいと考えた理由について、あてはまるものはどれですか。【○はあてはまるものすべて】

- 1 能力を生かした方がよいから
- 2 社会とより関わることができるから
- 3 経済的に自立できるから
- 4 精神的に自立できるから
- 5 少子高齢化が進んでいて、労働力が不足しているから
- 6 わからない
- 7 その他()

問 6 女性が働く方がよい(もしくは、働かない期間があつてよい)という考え方について、最も影響を受けたと思う人物やツールはどれですか。【○は1つだけ】

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1 女性の保護者 | 7 職業体験 |
| 2 男性の保護者 | 8 学校の授業 |
| 3 保護者以外の家族 | 9 テレビ・新聞・インターネットなど |
| 4 親戚 | 10 特に影響を受けたことはない |
| 5 学校の先生 | 11 その他() |
| 6 友人・先輩などの知人 | |

問7 あなたが将来家庭を持ったとしたら、①家事②育児 を主に誰がするのがよいと考えますか。【○は1から6のそれぞれ1つだけ】

	夫と妻で 相談して分担	主に妻	主に夫	夫と妻以外の 家族	外部サービス を利用	その他
① 家事	1	2	3	4	5	6
② 育児	1	2	3	4	5	6

2.高校卒業後の進路(希望)及び、将来の暮らしについてお伺いします。

問 8 卒業後の進路(希望)を教えてください。【○は1つだけ】

【進学】

- 1 大学 →【問9】へ
- 2 短期大学 →【問9】へ
- 3 専修学校・各種学校 →【問9】へ
- 4 その他() →【問9】へ

【就職】

- 5 正社員(正規雇用) →【問11】へ
- 6 パート、アルバイト(非正規雇用) →【問11】へ
- 7 自営業・自由業 →【問11】へ
- 8 その他() →【問11】へ

【その他】

- 9 未定 →【問14】へ

問9 希望する学校の所在地域を教えてください。【○は1つだけ】

- 1 会津若松市内
- 2 福島県内
- 3 東北(福島県を除く)
- 4 関東
- 5 その他国内
- 6 国外
- 7 まだ決めていない

問10 問9の回答理由を教えてください。【○はあてはまるものすべて】

- 1 希望する学部・学科がある
- 2 希望する学校がある
- 3 将来の就職に有利
- 4 希望する場所に住みたい
- 5 通学に便利
- 6 家族の意向
- 7 経済的理由
- 8 その他

問11 あなたが、就きたい業種を教えてください。【○は1つだけ】

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 農・林・漁業 | 8 宿泊・飲食サービス業 |
| 2 鉱業・建築業 | 9 医療・福祉 |
| 3 製造業 | 10 教育・学習支援 |
| 4 情報通信業 | 11 公務 |
| 5 運輸業 | 12 その他() |
| 6 金融・保険・不動産業 | 13 未定 |
| 7 卸売・小売業 | |

問12 将来、どの地域で働きたいですか。【○は1つだけ】

- 1 会津若松市内
- 2 福島県内
- 3 東北地域(福島県を除く)
- 4 関東
- 5 その他国内
- 6 国外
- 7 まだ決めていない

問13 問12の回答理由を教えてください。【〇はあてはまるものすべて】

- 1 希望する企業がある
- 2 希望する業種がある(多い)
- 3 希望する給与水準にある
- 4 希望する場所に住みたい
- 5 通勤に便利
- 6 家族の意向
- 7 福島の復興・発展に貢献したい
- 8 その他()

問14 あなたは、将来会津若松市に住みたいと思いますか。

【〇は1つだけ】

- 1 ずっと住みたい →【問15】へ
- 2 一度は市外に出ても、会津若松市に戻って住みたい→【問15】へ
- 3 住みたくない →【問16】へ
- 4 分からない →【問17】へ

問15 問14の回答(会津若松市に住みたい)の理由を教えてください。

【〇は3つまで】

- 1 両親や祖父母の近くで生活したい
- 2 家族の意向
- 3 地元の生活に慣れている
- 4 地元友人、知人が多い
- 5 希望する働き場所がある
- 6 ゆとりのある暮らしができる
- 7 自然環境に恵まれている
- 8 食べ物がおいしい
- 9 地元貢献したい
- 10 特に理由はないが、会津若松市が好きだから
- 11 その他()

→【問17】へ

問16 問14 の回答(会津若松市に住みたくない)の理由を教えてください。

【〇は3つまで】

- 1 他に住んでみたい地域がある
- 2 都会の方が暮らしやすそう
- 3 会津若松市に友人、知人が少ない
- 4 希望する仕事や魅力ある仕事がない
- 5 給料が安そう
- 6 市外出身者であり、地元に住みたい
- 7 親や親戚等の固定観念(男性は家を継ぐ、女性は結婚して家庭に入るなど)や地域の人づき合いが煩わしいから
- 8 その他()

問17 これから、会津若松市がどのようなまちになってほしいと思いますか。

【〇は3つまで】

- 1 豊かな自然環境が守られている
- 2 快適な生活環境の中で暮らせる
- 3 交通が便利で、どこにでも気軽に出かけられる
- 4 産業が盛んで、働く場に恵まれている
- 5 福祉や医療サービスが充実し、お年寄りや障がいのある人が大切にされている
- 6 災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる
- 7 教育環境が整い、子どもたちを伸び伸び育てることができる
- 8 祭りや伝統芸能などの地域文化が守られている
- 9 買い物が便利で、まちに活気がある
- 10 若者が多く、遊ぶところがたくさんある
- 11 性別にかかわらず、自分の個性と能力を十分発揮することができる
- 12 その他()

男女共同参画についてご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。

**会津若松市 高校生向け 男女共同参画に関する意識調査報告書
(令和4年度)**

発行：会津若松市企画政策部企画調整課 協働・男女参画室

〒965-8601 会津若松市東栄町3番46号

TEL 0242-39-1405 FAX 0242-39-1400

<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/>

この報告書は市のホームページにも掲載しています。